

令和4年度事業報告書
(案)

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

目 次

全体総括	1
実施事業一覧表	2
(1) 総務課	9
(2) 地域福祉課	15
(3) こども支援センター	35
(4) 介護サービス課	
デイサービスセンター班	48
ヘルパーステーション班	51
(5) 介護支援相談センター	
ケアプランセンター班	53
包括支援センター班	56
(6) 障がい者支援センターれんがの家	
児童発達支援班	58
障がい相談相談支援班	61
(7) 障がい者支援センタースペーシアれんが	
放課後等デイ班, 生活介護班	64
(8) このみ坂保育園	67
(9) 生活支援相談センター	69

全 体 総 括

令和4年度は、合志市民の暮らしや地域福祉の推進に向けた事業展開を一層強化するために、合志市と本会が協働して第4期地域福祉計画及び地域福祉活動計画を策定した。令和5年4月から5カ年の福祉活動の羅針盤となるこれらの計画は、行政、社会福祉協議会、そして要となる市民の参画が必要とされ、合志市で安心して暮らせるための切れ目のない支援や支え合いの仕組みづくりを進めることを柱に地域福祉の向上を目指す計画とした。

組織体制では、事務局体系を見直し7課から9課に編成することで制度事業別の管理体制の構築を図った。介護保険事業に係る相談・計画を担う部署を新設し、障がい者支援センターは施設ごとに分課し機能面と管理面の強化を図った。また、本市は新たに楓の森小中学校が開校され、現在4つの中学校区が編成されている。福祉行政においても民生・児童委員の活動がこの4つの中学校区ごとに開始され、本会が市の委託を受けて実施している地域福祉支援事業でも、地域福祉コーディネーターを各中学校区に配属することができた。

新型コロナの発生から3年が経過した。第7波(7～8月末)、第8波(11～1月末)と大規模流行した新型コロナは、本会の業務にも大きく影響した。感染する利用者、職員がこれまでにない規模で発生したものの、職場でクラスター(集団感染)の発生がなかったのは幸いであった。また、各イベントや講習会、講演会といった主催事業は感染対策を講じて実施するとともに、地域サロン等の市民ボランティアが関わる事業も参加人数を調整するなどして実施した。

新型コロナの影響で見過ごせないのは、生活に困窮する人が本市でも増加したことである。令和元年度と比較すると食料等支援や生活福祉資金の貸付が顕著に増加している(表1)。心身の状態悪化や家庭の問題等からくる経済的困窮相談はこれまでも多かったものの、新型コロナの影響を受けた失業や賃金の減少、健康状態の悪化などの要因が大きいと思われる。

(表1) 新型コロナ前と現状の相談件数等の比較

	新規相談	支援計画	相談援助数	食料等支援	生活資金
令和4年度(a)	351	91	6,262	197	120
令和元年度(b)	235	63	3,163	6	2
差異(a-b)	116	28	3,099	191	118

これまでの日常が何かのきっかけで一変するとだれもが福祉の対象となりうる。例えば、保育や介護、療育をはじめ、生活に困窮する問題や地域での見守り活動など、相当な数の人が福祉との関わりを持って生活している。それだけ日常において福祉は身近なものとなったが、福祉制度や活動への理解や参加の状況を見ると、市民にとっては身近にあるとは到底言えない。先に実施された第4期福祉計画での市民アンケートの結果は、福祉や地域活動への参加については「参加していない」が約9割を占める一方、活動等をもっと盛んにするために「活動に関する情報提供」を求める声が他の取組を大きく抑えて第1位となり、市や社協に求められている。(社協の名前も活動も知っている人は26.3%)

このことから市民活動や社協の活動を「見える化・見せる化」する必要がある。広報誌「ほっとライン」やホームページはもとより、SNS(登録された利用者同士が交流できるWebサイト)などを活用して子育て事業や地域福祉活動の「見える化・見せる化」を本年度も進めてきた。また、市内社会福祉法人や事業所と連携して、福祉の仕事の魅力を業界全体で発信する取組を小中学校の福祉教育の中で実践した。これらの取組を今後も強化し、「身近な福祉」が実感できるよう努めていきたい。

「社協が行う活動はすべて地域福祉の向上のため」という基軸の下、関係機関、団体との信頼関係の構築に努めること、そして職員が安心して働ける環境を整備していくことを並行して進めていき地域福祉の推進に努めていきたい。

事務事業の実施方針	課 名		総 務 課	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
組織経営管理	1	経営組織運営管理	1	評議員会の運営
			2	評議員選任・解任委員会の運営
			3	理事会の運営
			4	監事監査の実施(2回)
	2	社外監査への対応	5	社会福祉法人指導監査
			6	合志市財政援助団体監査
			7	その他事務事業監査
	3	苦情解決体制整備	8	福祉サービス第三者委員の設置
			9	苦情解決責任者、受付窓口の整備
			10	情報公開制度の研究、整備
			11	個人情報保護体制の整備
	4	人事・労務管理業務	12	人事評価制度(処遇改善業務)導入業務
			13	人事管理システム業務
			14	人材交流業務
			15	社会保険労務士による労務指導
			16	市地域包括支援センター出向業務
	5	就業支援業務	17	福利厚生支援業務(健診、被服貸与等)
			18	ヘルスケア推進業務(産業医の設置)
			19	特定求職者就労促進業務
			20	職員研修、資格取得支援業務
			21	職員互助会支援業務
組織経営管理	6	安全管理業務	22	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業
			23	拠点施設防火管理者の設置、自主防災体制の整備
			24	防犯訓練、防犯設備の整備
	7	財務管理業務	25	経営戦略事業(課長会の実施)
			26	資産管理(償却資産の補修保全)
			27	積立資産管理(投資先選定と果実管理)
			28	公認会計士による会計事務指導(毎月)
	8	事業管理業務	29	予算管理(予算編成と差異分析)
			30	事業計画の策定(事業の統括管理)
			31	施設整備計画の策定
			32	事務事業評価の推進
			33	福祉事業における情報処理技術(ICT)の活用
9	指定管理施設管理業務	34	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務	
		35	合志市老人憩の家指定管理業務	
10	福祉資金貸付事業	36	生活福祉資金貸付事業(熊本県社会福祉協議会受託業務)	
		37	福祉金庫貸付事業	

項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
----	---	----	---	---------

事務事業の実施方針		課名	地域福祉課	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域福祉推進事業	11	(福祉課・委) 地域支えあい推進事業	38	第4期合志市地域福祉計画、地域福祉活動計画作成
			39	地域福祉コーディネーター設置事業(34中学校区) (個別ニーズ調査・情報提供事業)
			40	重層的支援体制整備事業(参加支援)
			41	重層的支援体制整備事業(アウトリーチ)
			42	地域福祉座談会開催、地域状況・課題把握事業
			43	避難行動要支援者システム管理事業
			44	民生委員児童委員協働事業
			45	安心ほっとライン設置推進
			46	各種福祉団体助成事業(89団体)
			47	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(地域公益活動推進プラットフォーム)
			48	シニア活動の各種・多方面からの促進(聞き書き、エンジョイファーム等)
災害ボランティアセンター設置事業	12	災害ボランティアセンター設置事業	49	災害ボランティア養成講座
			50	災害ボランティアセンター設置訓練(職員・一般含)
地域福祉財源確保事業	13	地域福祉活動財源推進事業	51	社会福祉協議会会員募集の推進 (一般会員・賛助会員・法人会員)
			52	活動寄付・募金の募集(日赤募金)
			53	活動寄付・募金の募集(共同募金)
			54	共同募金運営委員会・審査委員会の実施
赤い羽根共同募金事業	14	安心生活サポート事業	55	ぽっかぽかサポート個別利用会員登録業務
			56	ぽっかぽかサポート協会員個人・団体登録推進 (サポーター養成・フォローアップ講座)
			57	ぽっかぽかサポート生活困窮者、(委)高齢者ゴミだし支援事業
			58	ぽっかぽかサポート他事業連携(ファミサポ)
			59	生活支援センターふらっとホーム太陽の運営
	15	ボランティアセンター・活動育成事業	60	ボランティアセンター設置業務(情報発信LINE構築・管理業務含)
			61	ボランティア体験実習支援
			62	ボランティア活動用品貸し出し業務
			63	視覚障がい者向け情報提供事業 (音声訳CD・再生機器プレクストーク提供)
			64	各種ボランティア養成講座(入門講座等)
			65	ボランティアスクール
	16	老人福祉活動費	66	地域見守り(歳末)支援事業(民生児童委員との協働)
	17	児童・青少年福祉活動	67	こども食堂ネットワーク事業
			68	小中高生職場体験実習支援
			69	ワークキャンプ事業(小学生)
			70	子育てサロン等地域組織化助成活動
			71	ボランティア協力校推進事業(14校)
72			オモイカタルバ(各種青少年ボランティア、居場所づくりLINK共同事業)	

項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
赤い羽根共同募金事業	18	福祉育成・援助活動事業	73	福祉イベント推進事業(ふれあいフェスティバル・eポッチャ等)
			74	地域福祉推進助成事業(ボラ連・民児協)
			75	モデル地区社協組織化活動助成推進事業(地協)
			76	小地域組織化推進事業(地域支え合い活動)
			77	教育教材の資料作成(365歩の脳活③)
	19	障がい者福祉活動事業	78	ヘルプカード事業
			79	障がい者家族のつどい事業
			80	障がい者サポーター(ホワイトエンジェル)養成事業
介護予防生活支援事業	20	〈高齢者支援課/包括・委〉 地域住民グループ支援事業 (サロン事業)	81	地域サロン活動推進・助成事業
			82	サロンボランティア育成・研修事業
			83	独居高齢者等訪問事業(民生児童委員協働)
			84	各種サロン普及事業 (体操サロン・趣味活動サロン 脳活きサロン等)
			85	男の井戸端サロン、木工やろう会、ブレンド珈琲倶楽部 男の出前キッチンかせるモン協働事業
			86	各種グループ化推進事業
	21	〈高齢者支援課/包括・委〉 認知症予防 「脳活き生き教室」事業	87	脳活きサポーター・送迎ボランティア養成講座
			88	脳活き生き教室開催・通常版(ふれあい館他)
			89	脳活き生き教室開催・地域版(須屋・みどり館・泉ヶ丘)
			90	脳活き生き各種(講話・体力検定・ウォークラリー・青空教室)
			91	認知症予防評価事業(ファイブ・コグ)
介護予防生活支援事業	22	〈高齢者支援課/包括・委〉 認知症地域支援体制構築等 推進事業	92	認知症サポーター・脳ケアルームサポーター養成事業
			93	認知症理解啓発推進事業(講演会・フォーラム等)
			94	ささえ愛ネットワーク模擬訓練(徘徊模擬訓練)
			95	認知症関連地域支援組織化事業 (ささえ愛隊協働・チームオレンジの結成)
			96	脳ケアルームの開催
			97	認知症カフェ(ありがとうカフェ)・家族のつどいの開催
			98	ささえ愛メール配信・LINE配信事業
			99	認知症地域支援推進員配置(2名)
	23	〈高齢者支援課/包括・委〉 高齢者介護予防把握事業	100	高齢者把握事業(訪問・専門指導訪問)
	24	〈高齢者支援課/包括・委〉 高齢者の生きがいと健康づくり 推進事業	101	終活講座、フォローアップ講座の開催
			102	スマホ講座、フォローアップ講座の開催
			103	農園活動、フォローアップ講座の開催
			104	木工教室、男性の料理教室フォローアップ講座の開催
			105	生きがい特別講座の開催
	25	地域の絆づくり推進事業	106	シニア活動の各種多方面からの促進(48番の事業を含む)
	26	(高齢者支援課・委)生活介護支援サポーター養成事業	107	生活・介護支援サポーター養成・登録管理事業
			108	元気応援サポーター養成・登録管理事業
	27	(高齢者支援課・委)家族介護教室	109	家族介護教室事業(スーパー・サポーター認定)
28	(高齢者支援課・委)生活支援	110	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層)	

項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
		体制整備事業	111	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)
			112	買い物支援(お出かけ応援プロジェクト)
			29	〈高齢者支援課/包括・委〉 地域包括支援センター
相談体制整備事業	30	(総務課・委)総合相談事業	114	法律・心配ごと相談(みどり館・泉ヶ丘・御代志・ふれあい館)
	31	(福祉課・委)CSW 相談事業所拠点整備	115	専門相談会(月1回程度)の実施
広報啓発事業	32	地域福祉広報強化事業	116	ほっとラインの発行(年12回)
			117	ホームページ運営
			118	SNS開設運営(フェイスブック、ツイッター、YouTube)
	33	機動的広報事業	119	出前講座・職員派遣事業(はってん組、各種講座等)
			120	視察研修受入事業
			121	社会福祉関係講習会講師派遣
人材育成事業	34	人材育成事業	122	社会福祉士育成支援事業
			123	教職員福祉体験実習支援事業

事務事業の実施方針		課名	こども支援センター	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域子育て支援センター事業	35	子育てに関する相談・援助事業	124	子育てに関する相談職員配置
			125	子育て関連情報提供
	36	子育て親子の交流促進事業	126	親子の集いの場の提供(あかぐみ)
			127	就園前の親子の体験活動(わっこくらぶ)
			128	障がいを持つ親子の支援(おもちゃ図書館)
			129	同じ悩みをもつ親子の集いの場(ツインズ)
	37	親子の育ち支援事業	130	子育てに関する講習会の実施(講演会・離乳食教室)
			131	父親の育児促進
			132	親子の絆づくりプログラム実施(年4回)
			133	子育てサロン育成支援
	38	地域の子育て力育成事業	134	地域の子育て支援者育成(子育てサロン)
			135	子育て交流事業(異世代交流・交流運動会)
136			安心な居場所の提供(遊びの場開放・ちょこっとタイム)	
児童センター事業	39	児童館設置事業	137	定期点検・避難訓練実施
			138	児童厚生員配置、スキルアップ研修
	40	子育てに関する相談・援助事業	139	子育て関連情報提供
			140	関係機関との連携体制
児童センター事業	41	健全育成(個別・集団)事業	141	遊びによる子どもの育成と子育て支援
			142	児童福祉週間特別事業
			143	異世代交流促進事業(クリスマス交流音楽祭 キッズフェス)
			144	ボランティア育成
			145	自然体験・食育活動(どろりんピック どんどこや あぐりっこくらぶなど)

項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
	42	体力増進事業	146	体力増進指導の専門員による指導
	43	地域組織化活動育成事業	147	子育てネットワークの構築、子育てサークル育成支援
	44	年長児童育成事業	148	地域福祉課連携中高生居場所づくり及び音楽スペース開放
			149	中高生ワークキャンプ実施
ファミリーサポートセンター事業	45	アドバイザー設置事業	150	多様化する相談と安全な利用を提供するための職員スキルアップ
			151	相談、会員登録、会員管理、援助活動調整業務
	46	協力会員養成及び育成事業	152	協力会員養成講座・フォローアップ研修実施
			153	事業推進のための会員募集及び啓発・広報活動
			154	会員交流促進(全体・協力会員交流会)
	47	緊急サポート事業(病児・宿泊支援)	155	医療機関との連携体制強化
			156	協力会員育成
病児保育事業	48	病児保育事業(すこやか・ひかり)	157	看護師・保育士配置による保育看護業務
			158	利用登録・広報活動及び定期的職員研修の実施
			159	感染予防・環境整備の実施
			160	医療機関との連携体制整備強化
	49	育児に関する相談・情報提供事業(すこやか・ひかり)	161	定期的健康相談(毎週)と情報提供及びすこやか通信の発行
放課後児童健全育成事業	50	学童保育事業(キッズ・くすの木・ピーすクラブ)	162	放課後児童支援員配置及び職員研修実施
			163	環境整備・避難訓練実施
	51	発達に応じた育成支援事業	164	自主性、社会性及び創造性の向上と生活習慣確立支援
			165	障がい児支援
			166	保護者・関係機関等との連携体制強化
ひとり親家庭等日常生活支援事業	52	生活援助・子育て支援事業	167	家庭生活支援員派遣業務
			168	関係機関との連携体制
子育て短期支援事業	53	緊急的な児童預かり支援事業	169	関係機関との連携体制
ふらっとホーム太陽事業	54	地域活動促進事業	170	ボランティア育成、地域交流促進

事務事業の実施方針	課名	課	介護サービス課	
通所介護事業	55	(委)総合事業	171	通所型サービスA
			172	指定第1号通所事業
	56	通所介護事業	173	指定通所介護事業
			174	基準該当生活介護サービス
訪問介護事業	57	(委)訪問型サービスA業務事業	175	訪問型サービスA支援事業
	58	(委)認知症高齢者家族やすらぎ支援事業	176	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業
	59	訪問介護事業	177	指定訪問介護事業
			178	日常生活総合事業
			179	有償ホームヘルプサービス事業
居宅介護事業	60	障がい者訪問支援事業の実施	180	ホームヘルパー派遣事業の実施
			181	重度訪問介護事業の実施

項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
			182	同行援護事業の実施
			183	地域支援事業移動支援事業の実施
居宅介護支援事業	61	指定居宅介護支援事業	184	指定居宅介護支援事業
			185	指定介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業
			186	介護認定訪問調査支援事業
			187	介護保険代行申請事業
	62	福祉用具貸出事業	188	福祉用具貸出事業

事務事業の実施方針		課名	障がい者支援センター	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域活動支援センター	63	創作的活動・生産活動 (自己実現プログラム) (自立支援プログラム)	189	陶芸
			190	農耕活動
			191	手芸・木工クラブ等
	64	社会との交流を促進する活動 (社会参画プログラム)	192	地域イベントへの参加促進
			193	高齢者サロンとの交流事業の開催
	65	地域住民へのボランティアの 育成及び地域啓発活動	194	手話教室の開催
195			広報「レンガだより」の発行	
相談支援	66	指定一般相談支援事業	196	指定一般相談支援事業所(地域移行・地域定着)の設置運営
	67	指定特定相談支援事業	197	障害者相談支援事業所の設置運営
			198	障害児相談支援事業所の設置運営
			199	地域生活支援拠点等整備事業の実施(窓口生活相談センター)
通所支援	68	障がい児通所事業所の設置 経営	200	就学前児童発達支援事業の実施
	69	障がい児通所事業所の設置 経営	201	指定放課後等デイサービス事業の実施(重心児を含む)
			202	就学期日中一時支援事業
	70	障がい者通所事業の設置 経営	203	指定生活介護事業

事務事業の実施方針		課名	このみ坂保育園	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
保育園の経営	71	通常保育事業	204	通常保育事業
			205	異年齢保育事業
			206	入所児体力増進事業
			207	入所児食育推進事業
			72	その他の事業
	73	地域子育て拠点事業(ひろ ば型)	209	延長保育事業
			210	一時保育事業(自主事業)
			211	家庭的保育を行う者への支援事業
			212	保育所体験交流事業

項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
事務事業の実施方針		課名	生活支援相談センター	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
自立相談支援事業	74	自立相談支援事業	213	窓口及び訪問(アウトリーチ)での相談対応業務
			214	就労準備支援事業(任意事業との連携)、就労支援業務
			215	家計相談支援事業(任意事業との連携)
			216	子どもの学習支援事業(任意事業との連携)
			217	ひきこもり相談支援事業
			218	緊急食糧支援業務
	75		219	アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化
権利擁護	76	地域福祉権利擁護事業	220	相談支援、支援計画の作成
			221	生活支援員の養成・指導及び監督
			222	福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理
	77	法人後見事業	223	適正な後見業務を担保する運営委員会の実施
			224	成年後見人等受任
	78	制度外支援	225	制度外支援(死後事務等)の研究

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
総務課	総務施設班、人事班、経理班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 組織運営状況 (重要事項の決議:理事会、評議員会審議事項、監事監査の実施)

- ・辞任に伴う役員及び評議員候補者の推薦
- ・令和3年度事業報告及び決算報告・令和4年度補正予算の審議(2回)
- ・令和5年度年度事業計画、社会福祉事業会計当初予算の審議
- ・評議員選任・解任委員の選出(外部委員:2名、監事:1名、職員:1名 計4名)
- ・規則規程(経理規程、就業規則、処務規定、役員・評議員の報酬に関する規程)の改正
(経営適正化の推進:監査、社内経理等事務指導の実施)
- ・監事による監査(年2回)・公認会計士事務所による事務指導(毎月)

(2) 人事労務状況(法人全体)

- ・職員数 (数字)は割合

正規職員	嘱託職員	臨時職員	登録職員	合計
83人(36.6)	36人(15.9)	58人(25.6)	50人(22.0)	227人(100)

- ・入局及び退職

入 局			退 職		
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
10人	6人	16人	15人	5人	20人

(3) 財務状況

本業の福祉事業である事業活動収入は、7億8712万4千円。施設整備等収入166万円、積立資産取崩収入524万6千円を加えた収入総額は、7億9403万円であった。一方、事業活動支出は、7億5445万2千円。固定資産取得費、退職給付引当資産支出等を加えた支出総額は7億9646万4千円で、差異△243万円であった。

損益状況(事業活動計算書)では、サービス活動収益対経常増減差額比率は1.8パーセント(前年度△1.3%)で、1,394万3千円の増益であった。なお、事業活動収入に占める人件費比率が76パーセントとなっており、従事する職員の処遇改善も比率上昇の一因となっている。とりわけ他事業所と競合する事業の事業効果や収益状況といった現状分析が必要である。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 適切な労働時間に基づく労務管理、人事評価制度の試行と並行した賃金体系の検討
- (2) 労働契約法等の改正による非常勤職員の就労体系の見直しと社内規則の整理
- (3) 拠点区分毎の財務管理の体制整備
- (4) 合志市施策との整合性と経営上の影響(活動拠点や施設管理、補助金、委託事業)

3 今後の方向性

福祉業界のみならず、全産業的に人手不足の克服が経営課題となっており、安定的な法人経営を実現するためには、働きやすい職場環境を整え選ばれる組織とならなければならない。「働き方改革」の趣旨を理解し関連する法令への対応と本会の組織状況にあわせた人事評価制度の構築を今後とも推進していく。

また、法人が行うすべての活動は、多くの公費が充当されており、適正な会計処理を行うとともに内部牽制体制の強化に努めていく。

本会は、介護、障がい、児童福祉関係の制度事業を財源とする収益が大半を占める。安定的な収益が確保できるような環境整備等を行いながら運営を行っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
1-3	理事会、評議員会の運営・実施	継続	独自事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会開催数 5回(5/26、10/27、12/9、3/20、3/30) ・評議員選任委員会 2回(6/24、3/22) ・評議員会 3回(6/29、12/22、3/28) (主な協議事項)	根拠法	社会福祉法
	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 ・令和3年度事業報告、決算報告 ・令和4年度補正予算の審議(2回) ・令和5年度事業計画、社会福祉事業区分予算の審議 ・障がい者支援センター事業用地の取得 ・規則規程(職員給与・退職、就業規則等)の改正ほか ・副会長、常務理事の選定 	実施回数	① 理事会 4回 ② 選任委員会 2回 ③ 評議員会 3回
		実施場所	ふれあい館
		定数	① 理事 10人 ② 評議員 15人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
4	経営適正化推進事業(監事による監査:令和3年度分)	継続	独自事業
	(1) 事業報告書は、関係法令及び通知等に従い法人の事業の執行状況を正しく示しているものと認める。	根拠法	社会福祉法 第45条第18項
	(2) 財産目録は、関係法令及び通知等に従い、法人の財産を正しく示しているものと認める。	実施日時	R4年5月13日 R4年11月14日
	(3) 貸借対照表は、関係法令及び通知等に従い、法人の資産と負債の状況を正しく示しているものと認める。	実施場所	ふれあい館
	(4) 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関係法令及び通知等に従い、法人の収入と支出、収益と費用の状況を正しく示しているものと認める。	実施機関	本会監事
	(5) 付属明細書は、関連する法令及び通知等に従い、法人の計算書類の明細を正しく示しているものと認める。	人数	2名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
5	社会福祉法人指導監査	継続	その他の事業
	社会福祉法人の適正な運営等を確保するため、監督機関である合志市から、関係法令等に基づく指導監査が定期的に行われている。 本会の一般監査の周期はB区分(3年に1回)である。令和4年度は対象年度であることから実施された。	根拠法	社会福祉法 第56条第1項
	【主な改善指導事項】	実施日時	令和4年8月4日
	資金収支計算書は会計省令に定めている指定様式に即して作成すること。また、会計処理のより明確化するために適正な勘定科目を使用すること。	実施場所	ふれあい館
	【是正改善報告書】	実施機関	合志市
	提出済み。	人数	3名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
8-11	苦情解決体制整備	継続	独自事業								
(事業の内容) 社会福祉法の規定に基づき、本会の実施する福祉サービスの提供に対する利用者からの苦情に関する社内体制を整備。		根拠法	社会福祉法								
(業務体制) ・苦情受付担当者：各課の課長 ・苦情解決責任者：事務局長 ・第三者委員：元監事1名、民生委員1名		実績年度	令和3年度報告を掲載								
(取扱件数) ・苦情、要望受付状況 7件 ・申出人 ①利用者4人、②保護者家族3人、③その他なし ・内容 施設整備の改善、職員の対応等		対象者	福祉サービス等の利用者								
		受付件数	7件								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
15	人事・労務管理業務	継続	独自事業								
15 社会保険労務士による労務指導 ・委託業者 有限会社ビジネス・アシスト ・委託内容 ① 労働契約書締結 ② 育児休業に伴う手続き ③ 業務災害の場合の労災保険諸手続き ④ 傷病手当金手続き ⑤ 就業規則の変更、36協定等労働基準監督署への諸届出 ⑥ 助成金・奨励金等の申請 ⑦ 障がい者雇用納付金申請書等の作成		事業費	396千円								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
19	特定求職者就労促進業務	継続	その他の事業								
(1) 高年齢者や障害者等の就職困難者の雇い入れを実施。障害の程度により雇用保険の一般被保険者として雇入れることで助成金の対象。		根拠法	雇用保険法								
(2) 雇用実績		助成金額	1,384千円								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>手帳所持者数</th> <th>ひとり親家庭</th> <th>高年齢者(60歳以上)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>7</td> <td>51</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table>		手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計	9	7	51	67	助成対象事業	障害者雇用調整金
手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計								
9	7	51	67								
(3) 障がい者の就労状況 ① 就業場所 ふれあい館の清掃業務 ③ 勤務日 月曜日～金曜日 8:00～12:00/13:00～17:00 雇用実績 6名		対象者	障がい者 本会での実績								
		助成金対象者数	9名								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
17-21	就業支援事業	継続	独自事業
17	福利厚生支援業務 職員の福利厚生事業として健康診断、ストレスチェック、インフルエンザ予防接種の補助、被服貸与等を実施。	17 事業費	1,936千円
	・健康診断受診者数 146名	18 事業費	198千円
	・ストレスチェック 121名		
	・インフルエンザ予防接種 190名	21 事業費	387千円
18	産業医 公立菊池養生園に委託。		
21	互助会支援事業 福利厚生の一環として職員互助会へ補助を実施。 129名		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
22-24	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業 拠点防災管理者の設置・自衛防火・防犯推進事業	継続	独自事業
22	安全運転管理者設置による安全運転管理推進 正:事務局長 副:安全運転管理者2名を配置 (公用車による事故等の状況)	22 事業費	19万5千円
	・人身事故・・・0件、物損事故・・・16件(前年度17件)	23 事業費	5千円
	・安全運転管理者によるアルコールチェック義務化に伴って毎朝、目視による確認とアルコール検知器を使用して飲酒運転撲滅および安全運転の意識向上を図った。		
23	防火管理者による自衛防火組織の編成及び日常の防火管理 (総合防災訓練)		
	・指定管理2施設(ふれあい館、老人憩の家)		
	④ ・このみ坂保育園、れんがの家、各事業所で総合防災訓練の実施。		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
25	経営戦略事業(管理者会の実施)	継続	独自事業
	(実施日) 毎月第1月曜日	実施日	毎月第1月曜日
	(協議内容)		
	・新型コロナウイルス感染症に対する対応について		
	・ふれあいフェスティバルの実施可否について		
	・大雨や台風等、災害の恐れがあるときの対応について		
	・半期業務執行状況及び決算見込状況		
	・職員採用計画、職員意向調査ほか、各課懸案事項や事業計画等の協議を実施		

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
28	公認会計士による会計事務指導(毎月)	継続	独自事業																
・委託業者	加久公認会計士事務所	実 施 日	毎月1回																
・委託内容	毎月1回の定期指導、決算事務指導 消費税申告事務ほか	事 業 費	決算前1回 935千円																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
34	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務	継続	合志市受託事業																
(事業の内容)		営 業 日	事務所機能:無休 ※貸室:火～日																
<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は平成14年5月、保健センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館。以来、社協の拠点として介護保険事業、市委託事業、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開。 ・現在、第5期(令和4～8年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金) 各部屋に使用料が必要。 		営 業 時 間	7:30～20:00																
(実績)		休 日	貸室:月曜日 12/29～1/3																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1,068</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>33,910</td> <td>34,978</td> </tr> </tbody> </table>		合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	0	1,068	0	0	33,910	34,978	対 象 者	合志市民
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
0	1,068	0	0	33,910	34,978														
(その他)		年 間 利 用 者 数	34, 978人																
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスまん延防止措置の緩和を受け、利用可能人数の制限等を3/14をもって撤廃した。 		番号	事業の名称																
35	老人憩の家指定管理業務	新規・継続	事業形態																
<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は平成6年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行っている。 ・現在、第5期(令和4～8年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金) ・60歳以上の高齢者 合志市内/100円、市外/400円 		営 業 日	火曜日～日曜日																
(実績)		営 業 時 間	9:00～19:00																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26,296</td> <td>94</td> <td>85</td> <td>0</td> <td>49</td> <td>26,524</td> </tr> </tbody> </table>		合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	26,296	94	85	0	49	26,524	休 日	月曜日 12/29～1/3
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
26,296	94	85	0	49	26,524														
(その他)		対 象 者	60歳以上の高齢者																
<ul style="list-style-type: none"> ・温泉ポンプ設備改修及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月より継続している休館を5/30まで実施。5/31より再開。(利用制限は継続) ・1/26小浴槽濾過器薬注ポンプ破裂があり、温泉供給が停止したため臨時休館。 ・3/14～マスクの個人判断による利用となったが、会館の利用制限は継続。 ・利用者の要望対し、年末の12/29及び30を開館、サービス向上を図った。 ・受付ほか、施設管理の一部業務を合志市シルバー人材センターに委託。 		年 間 利 用 者 数	26, 524人																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
36	生活福祉資金貸付事務事業	継続	県社協受託事業																														
(事業の内容) ・「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に実施。 (貸付対象) ・低所得世帯(市民税非課税程度)、高齢者世帯、障がい者世帯 (実績) 上段:相談件数、下段:貸付決定		相談日	月曜～金曜																														
		相談時間	8:30～17:30																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>母子等</th> <th>障がい</th> <th>失業</th> <th>借金</th> <th>生業</th> <th>低所得</th> <th>不動産担保</th> <th>生活保護</th> <th>コロナ特例貸付</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>125</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>		母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	コロナ特例貸付	合計	5	2	3	2	0	21	3	0	125	161	0	0	0	0	0	0	0	0	120	120	対象者	低所得世帯 障がい者世帯等
母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	コロナ特例貸付	合計																								
5	2	3	2	0	21	3	0	125	161																								
0	0	0	0	0	0	0	0	120	120																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
37	福祉金庫貸付事業	継続	独自事業																														
(事業の内容) ・本金庫は、生活困窮のため、一時的に借受ける者に貸付け、当該世帯の生活の自立更生を図ることを目的に実施。 (貸付対象) ・本市に1年以上居住し、生活困窮で一時的に貸付を要する状態にある方。 (実績) ・令和4年度 1件 (徴収不能) ・令和4年度 なし		相談日	月曜～金曜																														
		相談時間	8:30～17:30																														
		対象者	低所得世帯																														
		限度額	10万円																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
-	生活困窮者自立支援金受付窓口業務	終了	合志市受託事業																														
(目的) 新型コロナウイルス感染症の影響により生活福祉資金特例貸付の利用終了後も困窮する世帯に対して、就労や自立を促進する。 (受付実績)		事業費	709千円																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>初回申請</th> <th>再支給申請</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74件</td> <td>32件</td> <td>106件</td> </tr> </tbody> </table>		初回申請	再支給申請	合計	74件	32件	106件	受付期限	令和4年12月31日																								
初回申請	再支給申請	合計																															
74件	32件	106件																															

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
地域福祉課	地域福祉班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

第3期合志市地域福祉計画活動計画の方針に基づき、重点項目を進めることを目標に以下の項目をコロナ禍でもできるように工夫しながら取り組むことができた。

(1) 重層的支援体制整備事業への移行準備事業の実施に伴う総合相談体制の構築と強化

地域共生社会の実現に向け、複合・複雑化した相談について社協内でも各課の垣根を越えて課題解決できるように、月1回社内重層会議を設けケース検討を行った。その中で、各中学校別地域福祉コーディネーター(CSW)が中心となり、今年度から合志市より委託を受けた参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を展開している。

(2) 認知症に対する地域住民の理解(共生)と予防強化

ささえ愛ネットワーク(徘徊)模擬訓練を、オンライン配信と実際の訓練を交えたハイブリッド方式で実施した。また小学校へ認知症の人の気持ちを理解してもらえるよう認知症サポーター養成講座を実施し、声掛けのデモンストレーション(劇)や周知啓発用ポスターづくりの協力依頼も行い、訓練当日も参加してもらうことで認知症の人への理解を深めることができた。認知症予防の強化については、軽度認知障害(MCI)の人が通える居場所(脳ケアルーム)、認知症予防教室を年間通して実施できた。各教室サポーターである市民の役割が大きく、本活動が市民の認知症に対する理解(共生)につながっていると感じる。

(3) 福祉教育の推進

本会の福祉教育の内容を各学校のボランティア担当教員へ丁寧に説明・周知したことで、多くの学校から依頼があり、授業において講話・体験を実施できた。また西合志南中学校からは地域貢献活動の中で職場体験の依頼もあり「地域公益活動推進プラットフォーム事業」に参画している事業所と協働で、福祉・介護の職場の魅力を伝えることができた。市内企業からの福祉体験の依頼も1件あったがコロナ感染者の増加で中止。

(4) 募金活動の見直し・強化

今年度は区長会にて募金活動の説明をすることをはじめ、各事業でかかわりを持たせた区長へ個別に福祉座談会の参加やぽっかぽかサポート等福祉活動説明を行うなど、募金の使用目的を伝える機会を増やすことができた。さらに各課が関わりを持つ事業所へ法人募金の募集を追加、赤い羽根共同募金における街頭募金をアンビー熊本ニシムタの協力で初めて実施するなど、募金活動の強化を図ることができた。

(5) 第4期合志市地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定

合志市と社協で一体的に策定した本計画は、基本理念を第3期計画でも掲げてきた「市民みんなでまるごと地域共生社会」を継承しつつ、新たに「だれもがつながり寄り添い合える健康都市こうし」を副題とした。その中で重層的な相談支援体制の整備や「制度の狭間の課題」への取り組みの充実など、新たに重点項目を追加した。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 重層的支援体制整備事業への移行準備事業において、本事業内容を社内関係部署職員が理解し進める必要がある。合志市の重層的支援会議に、地域づくりの部分でCSWが参加できるよう働きかけたい。

(2) 様々な講座の中で、ICTを活用した自宅でも気軽に参加できるスタイルの構築を進めているが、高齢者の参加においては機器の取扱い・操作方法が難しく、意欲の引き出し方に課題が残る。また会場内の機器の環境設定や管理にマンパワーが今まで以上に必要となる。

3 今後の方向性

(1) 複雑化・複合化する相談に対して受け止め、解決できるような地域づくりを目指し、様々な関係機関と連動・協働しながら、だれもが参加できる居場所を創造していく。

(2) 合志市は転入・稼働世帯が増加する見込みでもあるため、小・中・高校等若い世代へサービラーニングを軸とした福祉教育プログラムを提案し、全世代が地域課題解決に向けた活動に参加できる仕組みを構築する(引き続きポイント制などの導入検討)。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
38	第4期合志市地域福祉計画・地域福祉活動計画作成	新規	合志市受託事業						
	第3期計画の基本理念である「市民みんなでまるごと地域共生社会」を軸に、市を取り巻く現状を踏まえつつ、「福祉のまちづくり」を引き続き進めていくため、アンケート調査からワークショップ、策定委員会を経て本編及び概要版を作成した。 概要版に関しては全戸配布を実施。 ○アンケート調査:市民無作為抽出3,000人対象 有効回収数1,118人(37.3%) ○アンケート調査②: 市内の各種事業所・ボランティア団体等 13団体 ○策定委員会:計4回 ○ワークショップ:一般市民向け 計2回 延べ90人 熊本高等専門学校向け(学生) 計44人	実施日時	通年						
		対象者	一般市民						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
39	地域福祉コーディネーター設置事業(4中学校区) (個別ニーズ調査・情報提供事業)	継続	合志市受託事業						
	住み慣れた地域において安心した生活を営むことができるよう、一人暮らし高齢者等への生活支援を目的とした基盤整備を行い、地域で安心して暮らせるためのニーズ調査、仕組みづくりを実施。中学校区ごとにコーディネーターを配置し、支援を必要とする人とそのニーズを把握する活動を実施した。 (地域福祉座談会及びコミュニティ会議の実施) ①地域福祉連絡協議会代表者会議(7月27日・3月4日) 述べ参加者 51人 ②相談・対応件数(電話・来館・訪問・調整すべて含む) 合志中学校区:516件 西合志中学校区:382件 西合志南中学校区394件 楓の森中学校区:43件	実施日時	通年						
		対象者	市民全般						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
40 41	重層的支援体制整備事業(アウトリーチ・参加支援)への移行準備事業	新規	合志市受託事業						
	誰もが支え合う地域共生社会の実現に向け、支援を必要とする市民が抱える生活課題へのアプローチを展開。また本会として横断的に、地域で包括的な支援体制を推進するために、月一回の社内重層的支援会議を実施。 ケース検討数 22名 自主研修2回 1)重層的支援体制整備事業について 2)発達障害の理解について 重層的支援体制整備事業の移行準備事業におけるアウトリーチ等を通じた継続的支援事業と参加支援事業を市より委託を受け実施した。	実施日時	通年						
		対象者	複合的課題を抱えた市民						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>ケース対応数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトリーチ等を通じた継続的支援事業</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>参加支援事業</td> <td>15件</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	ケース対応数	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	19件	参加支援事業	15件		
事業名	ケース対応数								
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	19件								
参加支援事業	15件								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
42	地域福祉座談会開催(アットホームトーク)、 地域状況・課題把握事業(生活状況アンケート調査)	継 続	合志市受託事業
今年度は地域福祉計画策定にあわせ、住民のニーズ把握、交流も含めた座談会(アットホームトーク)を実施した。加えて住民のささえ合い活動の現状を知るべくぽっかぽかサポーターの協力会員向けに座談会も実施。この活動のさらなる周知も含め新規に作成したパンフレットを用い研修会を開催した。		対 象 者	全市民
①アットホームトーク(一般市民向け) 令和4年8月26日 参加者:46名 / 9月9日 参加者:44名			
②ぽっかぽかサポート座談会○団体会員向け(3月8日AM) 参加者 17人 (研修会) ○個人会員向け(3月8日PM) 参加者 30人			
③生活状況アンケート 新型コロナウイルスによる影響が長引く中、高齢者の方がどのような生活上の変化やお困りごとがあるかを把握し、社会福祉協議会としてどのような方法で解決できるかを考える手段として、アンケートを実施した。 対象者:サロン対象者・75歳以上の高齢者 回答者数:715名			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
43 45	避難行動要支援者システム管理事業(安心ほっとライン設置推進)	継 続	合志市受託事業
職員による訪問と併せ、民生児童委員と連携し、要支援者の情報収集に取り組んだ。地域包括支援センターサブセンターに協力依頼し、状況から介護保険サービスへつなげるなど、連携をとるケースもあった。運用に際しては市・担当課の福祉課と綿密な連携のもと実施し、今年度は避難行動要支援者の登録をすべて委託事業の中で行った。また内容不備を防ぐため、3重チェックするようにした。		実 施 日 時	通年
(整備内容) ・市同意書入力 565人 ・要支援者の台帳管理 登録者 1,056人 ・安心ほっとライン配布・設置(新規64人+更新992人) 1,056件 ・市指定の広域避難所と最寄りの二次避難所に関する調査 ・支援者の登録内容確認		実 施 場 所	ふれあい館
		対 象 者	要支援者
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
44	民生委員児童委員協働事業 地域見守り	継 続	独自事業
75歳以上の一人暮らし高齢者の孤立防止と高齢者同士の交流の場の提供、自立生活の助長の目的にシングルシルバーふれあいの集いを民生児童委員協議会が主催で実施。東部地区は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、対象者に対して見守り活動と記念品を持参し、訪問した。西部地区においては、感染症対策を行いながら集いを開催した。		実 施 日 時	東部 10月中 西部 10月19日
・東部地区 実施日:10月中、対象者214人 ・記念品(東部地区のみ):マルチケース(薬、診察券手帳) ・西部地区 実施日:10月19日、対象者489人 うち82名参加 取組内容:御代志市民センターにてステージ発表 (ひよっとこ踊り・日舞・レクダンス・このみ坂保育園太鼓演奏)		実 施 場 所	要支援世帯
		対 象 者	一人暮らし高齢者(75歳以上)
		人 数	214人(東部) 82人(西部)
		事 業 費	291千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
46 74	各種福祉団体助成事業(10団体)	継続	独自事業
地域福祉推進を目的に下記のとおり助成を行った。		実施日時	通年
1、各種福祉団体助成事業 保護司会合志分会、身体障害者福祉協議会、ひとり親家庭福祉協議会、子ども会育成連絡協議会、区長協議会、更生保護女性会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、市内こども食堂		対象者	各種団体
2、地域福祉連絡協議会 モデル地区5地区(須屋、黒石、中央、野々島、合生地区)			
3、サロン推進助成事業 高齢者サロン38団体、子育てサロン7団体、趣味活動サロン6団体			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
47	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(地域公益活動推進プラットフォーム)	継続	独自事業
福祉分野を中心に、小規模法人を含め様々な地域の事業所同士が、地域貢献のための取り組みを推進できるよう、法人間プラットフォームの構築と重層的な支援体制の構築を図ることを目的とし、定例会議及び協働事業を展開した。		実施日時	左記記載
○参加法人:16法人・団体(社会福祉法人8、医療法人2、独立行政法人3、協同組合1、民間企業(福祉関係)1、行政)		対象者	16法人
○プラットフォーム会議 計6回 社協各部署間のさらなる横断的連携を図るため、社協内プロジェクトチームも発足し、連携を図った。			
○社協内プロジェクトチーム(活動名称:LINK) 協議回数 計12回			
○協働事業:福祉教育(学びの場):西合志南中学校2年生向けに福祉の魅力を伝える。参加事業所:6事業所 アットホームトーク(つながりと共有の場) 参加事業所:4事業所 フードパントリー(協働の場)参加者: 計96世帯 参加事業所:2事業所			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
48	シニア活動の各種・多方面からの促進 (聞き書き、エンジョイファーム等)	継続	独自事業
1 聞き書き講座・サークル活動 聞き書き講座受講者有志により「聞き書きサークルふれあい隊」が結成され、月1回の活動を実施し、これまでに5名の方の「聞き書き本」を製作。「語り手」と「聞き手」そしてそれを読む「読み手」が、あたたかくゆるやかなにつながっていく活動を継続している。		対象者	市民(シニア世代)
2 エンジョイファーム(交流・通いの場) エンジョイファーム講座受講者有志により弘生地区に「エンジョイファーム」を開設され、週1回農園活動を実施。農園活動の他、ぽっかぽか活動や児童館との交流事業を実施した。		人数	24人
3 ブレンド珈琲倶楽部 珈琲講座受講者有志により「ブレンド珈琲倶楽部」が結成され、“ありがとうカフェ”や地域のイベント等で、珈琲のおもてなしを実施。障がい者福祉施設のサンシャインワークスと協働で、オリジナル珈琲を作り窓口で販売を行っている。			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																													
49 50	災害ボランティア養成講座 災害ボランティアセンター設置訓練(職員・一般含)	継続	その他の事業																													
10月23日(日) 一般市民向け講座/参加 18人 ・合志市総合防災と併せて実施。楓の森小学校の地域交流ホールを会場として講座を開催。また、楓の森小学校校舎内に、社協のブースを設置し、児童や保護者へ対しても周知を行った。 (講義)「災害ボランティア活動と災害ボランティアセンターの役割」社協 「学生による災害ボランティア活動の役割と意義」 熊本大学 熊助組 松浦 拓斗 氏/山口 賢人 氏/ 大迫 雄馬 氏/鶴田 美花 氏/福島 怜奈 氏		実施日時	左記記載																													
		実施場所	ふれあい館																													
10月19日(水) 職員向け研修の実施 参加職員:20人		対象者	合志市民																													
10月30日(日) 災害ボランティアセンター設置訓練 ・社協独自にてふれあい館の交流ホールを活用し、各セクションの配置を行った。活動体験として、土のう袋作成と土のう運搬を実施した。 場所:ふれあい館 参加者:訓練参加者 21名 スタッフ 20人		人数	左記記載																													
		事業費	183千円																													
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																													
51	社会福祉協議会会員募集の推進 (一般会員・賛助会員・法人会員)	継続	独自事業																													
社協会員は、本会の運営のほか地域福祉活動を支えるため、本会の趣旨に賛同した個人・団体により構成され、実績は下記のとおりとなり、一般会員(戸別)の加入率は48%(前年比6.3%減)となった。		募集実績	6,333千円																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般会員</td> <td>普通会员</td> <td>10227口</td> <td>5,113,500円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>67口</td> <td>67,000円</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>4口</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">法人会員</td> <td>賛助会員</td> <td>70社</td> <td>350,000円</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>38社</td> <td>470,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">寄付金扱い</td> <td></td> <td>128,500円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>6,333,600円</td> </tr> </tbody> </table>		種別		件数	実績額	一般会員	普通会员	10227口	5,113,500円	賛助会員	67口	67,000円	特別会員	4口	20,000円	法人会員	賛助会員	70社	350,000円	特別会員	38社	470,000円	寄付金扱い			128,500円	合計			6,333,600円	実施日時	7月～9月
種別		件数	実績額																													
一般会員	普通会员	10227口	5,113,500円																													
	賛助会員	67口	67,000円																													
	特別会員	4口	20,000円																													
法人会員	賛助会員	70社	350,000円																													
	特別会員	38社	470,000円																													
寄付金扱い			128,500円																													
合計			6,333,600円																													
		対象者	市民及び事業所																													
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																													
51	活動寄付・募金等の募集	継続	独自事業																													
地域福祉活動財源として寄付・寄贈の受入を実施した。 ・寄付金		実施日時	通年																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th colspan="2">実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香典返し</td> <td>184件</td> <td>3,277,500円</td> </tr> <tr> <td>一般寄付</td> <td>54件</td> <td>1,476,324円</td> </tr> </tbody> </table>		種別	実績額		香典返し	184件	3,277,500円	一般寄付	54件	1,476,324円	対象者	市民及び事業所																				
種別	実績額																															
香典返し	184件	3,277,500円																														
一般寄付	54件	1,476,324円																														
うち10万円以上の高額寄付 5件 ・寄贈 64件																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
52	活動寄付・募金の募集(日本赤十字会員募集)	継続	その他の事業																								
<p>日本赤十字社は、人々の命と健康を守るために、国境を越えた災害救護活動や血液事業など幅広い活動を展開している。このような活動を支えている会費(活動資金)を募集するために5月を「赤十字運動月間」として、会員及び協力会員募集を、本会が窓口となり業務を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員</td> <td>13件</td> <td>26,000円</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>4件</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寄付金</td> <td>自治会</td> <td>20件</td> <td>1,341,900円</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>7,927件</td> <td>3,755,700円</td> </tr> <tr> <td>貯金利息</td> <td>2件</td> <td>19円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>5,156,619円</td> </tr> </tbody> </table>		種別	件数	実績額	会員	13件	26,000円	法人会員	4件	33,000円	寄付金	自治会	20件	1,341,900円	個人	7,927件	3,755,700円	貯金利息	2件	19円	合計	—	5,156,619円	募集実績	5,156千円		
種別	件数	実績額																									
会員	13件	26,000円																									
法人会員	4件	33,000円																									
寄付金	自治会	20件	1,341,900円																								
	個人	7,927件	3,755,700円																								
貯金利息	2件	19円																									
合計	—	5,156,619円																									
		実施日時	5月																								
		対象者	市民及び事業所																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
53 54	赤い羽根共同募金募集事業	継続	その他の事業																								
<p>赤い羽根共同募金の募集を合志市共同募金委員会が実施し、本会が事務対応を行った。本年度は、合志市独自目標額:7,370,000円に対し、95.8%にとどまり、目標には届かなかった。</p> <p>今年度、ニシムタ合志店において合志市共同募金会として、初めて街頭募金を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募金種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>10,618件</td> <td>5,047,200円</td> </tr> <tr> <td>個人募金</td> <td>5件</td> <td>27,966円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>167件</td> <td>1,301,886円</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>8件</td> <td>408,166円</td> </tr> <tr> <td>イベント募金</td> <td>7件</td> <td>18,909円</td> </tr> <tr> <td>その他の募金</td> <td>45件</td> <td>219,254円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,851件</td> <td>7,062,304円</td> </tr> </tbody> </table>		募金種別	件数	実績額	戸別募金	10,618件	5,047,200円	個人募金	5件	27,966円	法人募金	167件	1,301,886円	職域募金	8件	408,166円	イベント募金	7件	18,909円	その他の募金	45件	219,254円	合計	10,851件	7,062,304円	実施日時	10月～12月
募金種別	件数	実績額																									
戸別募金	10,618件	5,047,200円																									
個人募金	5件	27,966円																									
法人募金	167件	1,301,886円																									
職域募金	8件	408,166円																									
イベント募金	7件	18,909円																									
その他の募金	45件	219,254円																									
合計	10,851件	7,062,304円																									
		対象者	市民及び事業所																								
		目標額	7,370千円																								
		募金実績	7,062千円																								
55	ぼっかぼかサポート個別利用会員登録業務	継続	独自事業																								
<p>基盤支援を必要とする人々がもれなくカバーされる体制について、「安心生活サポート事業」(通称:ぼっかぼかサポート)の運営継続及び団体登録の推進を行った。今年度は新たに2つの団体が結成され、これまで休止していた1団体も活動を再開した。</p> <p>・ぼっかぼかサポート登録(令和5年3月末) 利用会員698人 協力会員503人 団体登録15団体 対応件数(チケットベース) 3,173件 ・ぼっかぼかサポート養成講座含む住民説明 : 計4回 107人</p>		実施日時	通年																								
		対象者	要支援者																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
56	ぽっかぽかサポート協会個人・団体登録推進 (サポーター養成・フォローアップ講座)	継続	独自事業												
<p>地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的に持続するため、市民が主体的に運営する新たな住民参加サービス等の担い手としての育成(ぽっかぽかサポーター養成講座)に努めた。サポーターが少ない地域に向け団体登録の働きかけ、サポーター養成を実施し、登録に至った(榎ノ本・エンジョイファーム)。また、以前団体登録があったぽっかぽか永江の団体が活動再開することができた。</p> <table border="1" data-bbox="261 539 949 689"> <thead> <tr> <th>サポーター種別</th> <th>登録数</th> <th>実働数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぽっかぽかサポーター(個人)</td> <td>40人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>ぽっかぽかサポーター(団体)</td> <td>15団体</td> <td>11団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		サポーター種別	登録数	実働数	ぽっかぽかサポーター(個人)	40人	19人	ぽっかぽかサポーター(団体)	15団体	11団体				実施日時	通年
		サポーター種別	登録数	実働数											
		ぽっかぽかサポーター(個人)	40人	19人											
		ぽっかぽかサポーター(団体)	15団体	11団体											
対象者	要支援者														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
57 58	ぽっかぽかサポート生活困窮者、(委)高齢者ゴミだし支援事業 ファミリーサポート連携	継続	独自事業												
<p>1、ぽっかぽかサポート(生活困窮者対策、他事業連携) ぽっかぽかサポートにおいて、生活困窮者支援として安心サポート合志や他部署と連携を図り活動を展開。</p> <p>2、ぽっかぽかサポート高齢者ゴミだし支援事業 市環境衛生課からの委託事業により、燃えるゴミ出しの利用料免除による利用会員の負担軽減を実施 実施人数:延べ 17人</p> <p>3、ファミリーサポートとの連携のため定期会議にファミリーサポート担当者も参加しお互いの情報共有を含め協力体制を整えた。</p>		実施日時	通年												
		対象者	要支援者												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
59	生活支援センターふら〜っとホーム太陽の運営	継続	独自事業												
<p>南ヶ丘生活支援センター「ひかり」内に“ふら〜っとホーム太陽”において、相談窓口、また“ぽっかぽかサポート”の地域拠点(出先機関)として、引き続き運営を実施した。具体的には社協地域サポーター(エグゼクティブ・サポーター)リーダーが毎週水曜日10時から12時、地域住民からの様々な相談に応じるというもの。また、担当地区である合志中学校区の“ぽっかぽかサポート”利用会員に対して「お元気コール」と称し、安否確認やお困りごと相談を電話にて行った。</p> <p>菊池郡市の行政書士会ともタイアップし、毎月第一水曜日には合同で「行政書士による相談日」を開設している。</p> <p>・お元気コール 300件 ・ぽっかぽかサポートの依頼 14件 ・社協連携件数 8件 ・行政書士相談 10件</p>		実施日時	毎週水曜日												
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター「ひかり」												
		対象者	合志南小・南ヶ丘小校区												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
60	ボランティアセンター設置業務(情報発信LINE構築・管理業務含)	継続	独自事業										
1、コーディネーター設置 地域のボランティア活動状況などを把握し、活動の継続や発展などを支援する視点でその促進に努めた。また、ボランティア活動に携わる人の知りたいと思っている情報を個別に提供するといった視点からセンター事業を進めるとともに、安心して活動できるようボランティア活動保険の加入促進を実施した。 (ボランティアセンター・体験活動情報センター相談件数) ・相談件数 66件(前年度59件) ・調整回数 173回(前年度121回) *コロナ感染症の影響でボランティアの活動場所も減少している	実施日時	通年											
	実施場所	ふれあい館											
	対象者	市民全般											
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
61	ボランティアセンター運営事業、ボランティア組織支援事業 普及推進事業	継続	独自事業										
○ボランティア連絡協議会活動支援 多種多様なボランティアが、それぞれの活動分野から一歩前進してお互いに協力、理解、連携しあうために自主的な活動を行う連絡協議会の活動が円滑に行われるよう協力・支援した。 役員会:11回 開催行事:令和4年11月27日 スポーツ交流会 参加者48人 令和5年2月19日 ボランティア連絡協議会交流会 参加者43人 ※今年度は、ボランティア連絡協議会交流会を福祉講演会と併せて実施。	実施日時	通年											
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
62	ボランティア地域活動業務 活動用品貸し出し業務	継続	共同募金配分金										
63	視覚障がい者向け情報提供事業(音声訳CD・再生機器プレクストーク提供)												
1、ボランティア地域活動支援 (ボランティア登録人数) ・個人登録者 93人(前年度73人) ・団体登録 92団体 1,160人(前年度88団体 1,158人) <table border="1" data-bbox="204 1653 1023 1742"> <tr> <td>ボランティア活動保険加入状況</td> <td>基本プラン</td> <td>天災A</td> <td>特定</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>779人</td> <td>114人</td> <td>33人</td> <td>926人</td> </tr> </table> 2、機材貸付 地域住民が行う福祉活動の円滑な推進と、地域への福祉啓発・広報活動を行うため、活動用品の整備を図り広く貸与を行った。 ・総貸出件数 54件(体験・地域イベント用具、レクリエーション用品等) 3、視覚障がい者向け情報提供事業 毎月広報こうし、社協の広報誌ほっとラインを5個人・5施設にCD配布。	ボランティア活動保険加入状況	基本プラン	天災A	特定	合計		779人	114人	33人	926人	継続	独自事業	
	ボランティア活動保険加入状況	基本プラン	天災A	特定	合計								
		779人	114人	33人	926人								
	実施日時	通年											
対象者	市民全般												
人数	1,253人												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
64	各種ボランティア養成講座(入門講座等)	継続	独自事業												
<p>今年度は、生活支援サポーター養成のフォローアップも含め傾聴講座、認知症サポーター養成講座を2部制で実施した。</p> <p>① 学習サポーター養成講座:日時:令和4年9月28日(水)・10月24日(月) 参加者:5名</p> <p>② 送迎サポーター養成講座:日時:(1日目)令和4年10月24日(月) / (2日目)10月25日(火) 参加者:14名 ※城北自動車学校にて安全運転講習を実施した</p> <p>③ ボランティア講座入門編:日時:令和5年3月17日(金) 場所:ふれあい館 参加者:14名 講師:さいばーとれいん 齊場 俊之 氏</p> <p>ボランティア講座入門編として、ボランティアの基礎知識を学び、カメラの使い方講座を実施。カメラという道具を用いて取り組める活動のきっかけづくりを行った。</p> <p>④ eスポーツボランティア養成講座 日時:(1日目)令和4年5月28日(土) / (2日目)令和4年6月11日(土) 参加者:10人 小学5年生～大学生までを対象にゲームの操作方法やセッティングの仕方を教えるボランティアの養成を行った。</p>		実施日時	通年												
		実施場所	養成の内容で決定												
		対象者	市民全般												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
65 68	福祉教育推進事業(職場体験等受入れ)ボランティアスクール	継続	独自事業												
<p>自分達が住む地域で暮らしを支える仕事との関わりを通じて、働く喜びや自分自身の生き方を考えるきっかけとして、また「福祉」の仕事へ興味関心を持ってもらうことを目的に職場体験等の受入れを積極的に行った。令和4年度(3校)</p> <table border="1" data-bbox="164 1099 1003 1366"> <tr> <td>西合志南中学校 Aコース</td> <td>23人</td> <td>職場体験(市内福祉事業所との協働・福祉の魅力について)</td> </tr> <tr> <td>西合志南中学校 Bコース</td> <td>10人</td> <td>職場体験(ボランティアについて学ぼう～ボランティアでGrow UP!)</td> </tr> <tr> <td>合志中学校</td> <td>6人</td> <td>職場体験(各福祉活動について)</td> </tr> <tr> <td>城北高校</td> <td>1人</td> <td>職場体験(各福祉活動について)</td> </tr> </table>		西合志南中学校 Aコース	23人	職場体験(市内福祉事業所との協働・福祉の魅力について)	西合志南中学校 Bコース	10人	職場体験(ボランティアについて学ぼう～ボランティアでGrow UP!)	合志中学校	6人	職場体験(各福祉活動について)	城北高校	1人	職場体験(各福祉活動について)	実施日時	左記記載
西合志南中学校 Aコース	23人	職場体験(市内福祉事業所との協働・福祉の魅力について)													
西合志南中学校 Bコース	10人	職場体験(ボランティアについて学ぼう～ボランティアでGrow UP!)													
合志中学校	6人	職場体験(各福祉活動について)													
城北高校	1人	職場体験(各福祉活動について)													
		実施場所	ふれあい館												
		対象者	市内小中高生 大学生												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
66 83	地域見守り(歳末)支援事業(民生児童委員との協働)	継続	独自事業												
<p>歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校、地区の子ども会などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等453人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。○対象者:80歳以上一人暮らし高齢者等(福祉票登録者)</p> <p>○対象者人数:453人(西部:267人、東部186人)</p> <p>○記念品:①元気応援カレンダー②ご縁はがき(メッセージカードを書いた児童に返信するはがき): 自宅で取り組める体操や塗り絵・脳トレを掲載したオリジナルカレンダーを作成・配布し、自宅での介護予防に取り組んでもらった。また、コロナ禍で児童との交流が減少したため、はがきでの交流・つながりづくりを行った。</p> <p>○協力:合志市民生委員児童委員協議会連合会、各地区子ども会、社協こども支援センター・(地域子育て支援センター・学童保育等)このみ坂保育園、れんがの家、各ボランティア協力校(市内小学校)</p>		実施日時	12月												
		実施場所	要支援世帯												
		対象者	80歳以上 独居高齢者等												
		人数	453人												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
67	こども(地域)食堂ネットワーク事業	継続	独自事業																														
<p>合志市内で活動している地域(こども)食堂同士の情報交換や共有、ボランティアのマッチング、さらにはフードバンクや企業等が食料支援(フードドライブ等)に取り組みやすい環境づくりを目的にネットワーク事業を展開。会議を通してはじめて各団体顔合わせ等を実施した。</p> <p>○ネットワーク会議:令和5年2月9日(木) 場所 ふれあい館</p> <p>○参加者:17名(内訳:市内こども食堂 4か所及び行政:子育て支援課・市商工振興課)</p> <p>○協議内容:各食堂の活動・特色について 今後のネットワーク構築に向けた意見交換</p>		実施日時	左記記載																														
		実施場所	左記記載																														
		対象者	こども食堂運営者																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
69	ワークキャンプ事業(小学生)	継続	合志市受託事業																														
<p>熊本県にて7、8月に展開されている「ボランティア体験月間」に伴い、福祉やボランティアへの関心を深める体験や講習会を通じて、地域の様々な問題・自分たち自身の問題について考えるきっかけづくりとして児童・生徒を対象とした体験学習を各ボランティア協力校等に参加を呼びかけ開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり3月に実施。</p>		実施日時	左記記載																														
		実施場所	左記記載																														
		対象者	市内小中高校																														
		人数	12人 65人																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者</th> <th>人数</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月3日(水)</td> <td>中学生</td> <td>65人</td> <td>ふれあい館</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月5日(日)</td> <td>小・中学生</td> <td>12人</td> <td>西合志第一小学校</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>77人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実施日	参加者	人数	場所	8月3日(水)	中学生	65人	ふれあい館	令和5年3月5日(日)	小・中学生	12人	西合志第一小学校	計		77人																	
実施日	参加者	人数	場所																														
8月3日(水)	中学生	65人	ふれあい館																														
令和5年3月5日(日)	小・中学生	12人	西合志第一小学校																														
計		77人																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
70、84	特化型サロン普及事業(体操サロン・趣味活動サロン 脳活きサロン等) 子育てサロン等地域組織化助成活動	継続	独自事業																														
<p>サロンが休止している地域や通常サロンとは別で1回でも多く外出する機会を増やし交流、介護予防運動をひとつのきっかけとして、地域の集いの場として開催。総合事業や趣味活動サロンへと繋ぎの役目も担うこととして事業を実施した。</p>		実施日時	左記記載																														
		実施場所	左記記載																														
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>上須屋いきいき体操サロン</td> <td>上須屋学習センター</td> <td>第3水曜</td> <td>6回</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ドレミの会</td> <td>灰塚改善センター</td> <td>月4回</td> <td>26回</td> <td>204人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上庄ほのぼの健康サロン</td> <td>上庄公民館</td> <td>第1, 3木曜</td> <td>17回</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ふれあいカフェ</td> <td>東大池公民館</td> <td>月6回</td> <td>6回</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>野ばらの会</td> <td>御代志市民センター</td> <td>第3水曜</td> <td>10回</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table>		1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	第3水曜	6回	79人	2	ドレミの会	灰塚改善センター	月4回	26回	204人	3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	第1, 3木曜	17回	304人	4	ふれあいカフェ	東大池公民館	月6回	6回	33人	5	野ばらの会	御代志市民センター	第3水曜	10回	101人	対象者	市民
1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	第3水曜	6回	79人																												
2	ドレミの会	灰塚改善センター	月4回	26回	204人																												
3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	第1, 3木曜	17回	304人																												
4	ふれあいカフェ	東大池公民館	月6回	6回	33人																												
5	野ばらの会	御代志市民センター	第3水曜	10回	101人																												
<p>子育て世代が増える地域状況の中で、まだまだ子育て中の保護者の集まれる場所が少ない現状である。</p> <p>7団体(笹原、東須屋、武蔵野台、須屋地協、杉並台、新開、若原)今年度は発達障がい児の親の会(まあぶる)が立ち上がり組織化された。</p>																																	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態	
71	ボランティア協力校推進事業(16校)	継続	合志市受託事業	
	<p>地域の一員として、福祉課題を感じ、考え学び、相手の立場に立った視点や心を醸成する、また小学生または中学生に対し思いやりの心を育み、「地域で支え合う」ことの重要性を感じ、多様性を認め合う地域の基盤づくり、いわゆる社会的包摂に向けた福祉教育を目的とする。</p> <p>○小学校…6校(計17回) 延べ1,586人</p> <p>○中学校…1校(計4回) 延べ329人</p> <p>※内容については認知症サポーターのみならず、福祉講話や車イスや高齢者疑似体験、コロナを題材とした福祉教育の実施。</p>	実施日時	左記記載	
		実施場所	各学校	
		対象者	1,915人	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態	
72	オモイカタルバ (各種青少年ボランティア、居場所づくりLINK共同事業)	継続	独自事業	
	<p>将来の社会や合志市の担い手となり得る中高生へ福祉や社会貢献活動等を通じた居場所づくり「オモイカタルバ」を実施した。また、今年度新たに放課後の時間に立ち寄れる子どもの居場所づくりとして「すずかけベース」を10月より開始した。さらに、今年度も『eスポーツボランティア』を養成し、eスポーツを活用したボランティア活動を開始した。</p> <p>○子どもの居場所づくり すずかけベース 場所:NPO法人 ぼっかぽかすずかけよんなっせ 時間:毎週水曜日 15:30～ 参加費:1回200円</p> <p>○eスポーツボランティア養成講座 【1日目】健康ゲーム指導士の資格を取ろう 令和4年5月28日(土) 【2日目】ボランティアのいろ・は 令和4年6月11日(土) 参加人数:延べ20人 ※合志市eスポーツ大会・各子ども会の交流会にてボランティア実施</p>	実施日時	第1土曜	
		実施場所	ふれあい館	
		対象者	小学高学年～大学生	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態	
73	福祉イベント推進事業(ふれあいフェスティバル・eボッチャ等)	新規	独自事業	
	<p>○キャッチコピー:「つながる愛地域の愛合志の愛 ～あいまるごととどけます～」</p> <p>○感染予防に努めながら集客を予約制にして開催。</p> <p>○展示ブース:合志市社協のマスコットキャラクターあいまるをモザイクアートにするイベントは笑顔の写真を事前にはっとりラインで募集し当日展示</p> <p>○体験ブース:①盲導犬体験・福祉用具展示、②ボッチャ・eボッチャ体験 障害の有無関係なく誰もが参加できる場所を提供。</p> <p>○バザー(物品販売等):ボランティア団体による物品販売(参加団体5)を実施。</p> <p>○記念講演会:演題:「食からつながる地域の愛」講師:宮津航一氏 (コウノトリのゆりかごに預けられて里親のもと育った、現在は子ども食堂を大学生で立ち上げ運営)</p> <p>○フードパントリー:物品の配布には市民から募ったフードロス削減の品や、西南中の地域貢献活動の中で生徒自らが考案した、学校で不用品を集めて困っている方へ提供をすることもできた。 (参加者数)</p>	実施日時	左記記載	
		対象者	市民全般	
		参加人数	左記記載	
バザー	イベント	展示	講演会	合計
64	40	4	53(オンライン6)	161名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
75	モデル地区社協組織化活動助成推進事業(地協)	継続	合志市受託事業																																																
<p>地域の福祉課題や福祉活動の状況の把握、行政や各地協間の連携を推進するため、5つの地域福祉連絡協議会の代表者会議を6月と3月に行った。 (構成メンバー)区長、民生委員、老人クラブ、ボランティア、学識経験者等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>須屋</th> <th>黒石</th> <th>中央</th> <th>野々島</th> <th>合生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数</td> <td>8区</td> <td>5区</td> <td>8区</td> <td>12区</td> <td>10区</td> </tr> <tr> <td>加入区数</td> <td>7区</td> <td>4区</td> <td>6区</td> <td>8区</td> <td>9区</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>82人</td> <td>31人</td> <td>63人</td> <td>43人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>高齢者サロン</td> <td>7カ所</td> <td>3カ所</td> <td>4カ所</td> <td>4カ所</td> <td>1カ所</td> </tr> <tr> <td>こどもサロン</td> <td>1カ所</td> <td>2カ所</td> <td>1カ所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流会回数</td> <td>4回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>訪問活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生	自治会数	8区	5区	8区	12区	10区	加入区数	7区	4区	6区	8区	9区	会員数	82人	31人	63人	43人	30人	高齢者サロン	7カ所	3カ所	4カ所	4カ所	1カ所	こどもサロン	1カ所	2カ所	1カ所	—	—	交流会回数	4回	2回	1回	2回	1回	訪問活動	○	○	○	○	○	実施日時	通年
項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生																																														
自治会数	8区	5区	8区	12区	10区																																														
加入区数	7区	4区	6区	8区	9区																																														
会員数	82人	31人	63人	43人	30人																																														
高齢者サロン	7カ所	3カ所	4カ所	4カ所	1カ所																																														
こどもサロン	1カ所	2カ所	1カ所	—	—																																														
交流会回数	4回	2回	1回	2回	1回																																														
訪問活動	○	○	○	○	○																																														
		実施場所	各コミュニケーション																																																
		対象者	市民全般																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
76	小地域組織化推進事業(地域支え合い活動)	継続	独自事業+委託																																																
<p>(見守りネットワークの状況)</p> <p>住みなれた地域で自立生活を送るためには、地域の福祉問題を解決するためにフォーマル・インフォーマルの資源と連携し活用するネットワークが不可欠になり、近隣住民がボランティア活動を展開していくことが課題となってくる。</p> <p>現在西部地区においては5カ所の地域にて、高齢者やこどもたちのネットワーク活動やボランティア活動を支えるため自主的に組織化している。また東部地区においては地域サロンまたは、ぽっかぽかサポート協力団体等を中心に小地域(行政区)で取り組んでいる。</p> <p>○地協組織化数:5箇所 ○ぽっかぽかサポート団体(行政区単位):8団体</p>		実施日時	通年																																																
		実施場所	各地協・サロン・行政区等																																																
		対象者	市民全般																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
77	教育教材の資料作成(365歩の脳活①②)	新規	独自事業																																																
<p>コロナ禍における認知症予防の取り組みとして、合志の昔話を活用し読み書き・計算・思い出トレーニングができる脳トレ教材「365歩の脳活①」ならびに「365歩の脳活②」を製作した。老人クラブ連合会や地域福祉連絡協議会等、コロナ禍で出来る活動の一つとして教材を活用してもらうよう働きかけた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>実施時期</th> <th>発行部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>365歩の脳活①</td> <td>令和2年5月～</td> <td>793冊</td> </tr> <tr> <td>365歩の脳活②</td> <td>令和3年5月～</td> <td>339冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象者 合志市内在住の方 印刷代 1,000円/冊 令和4年度発行部数 27部(令和5年3月末現在)</p>		種類	実施時期	発行部数	365歩の脳活①	令和2年5月～	793冊	365歩の脳活②	令和3年5月～	339冊	実施日時	令和2年5月～																																							
種類	実施時期	発行部数																																																	
365歩の脳活①	令和2年5月～	793冊																																																	
365歩の脳活②	令和3年5月～	339冊																																																	
		対象者	合志市内在住の方																																																
		印刷代	1部1,000円																																																
		発行部数	27部																																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態					
78 79	ヘルプカード事業	継続	独自事業					
<p>障がいをもつ人の中には、自ら「困っている状態」を伝えることが困難な人がいる。日常(普段の登校や外出、また旅行先で家族とはぐれたり、帰路が分からなくなった時などの場合)、または災害時の困難も想定し、障がいを持つ人が登録されることで携帯可能なヘルプカードを常に身に着けていただき、周りでそのカードを発見した方が、カード裏面の連絡先に連絡していただくことで、合志市社会福祉協議会等から家族や保護者のもとに居場所や状況を知らせるシステム。</p> <p>○登録者数:17人 ○調整(活動)件数: なし</p>		実施日時	通年					
		対象者	ヘルプカード登録者					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態					
81 83	地域高齢者サロン活動推進(見守り活動含む)・助成事業	継続	合志市受託事業					
<p>地域住民と協働し閉じこもりがちな高齢者を対象に参加しやすい地域内の公民館等に「通いの場所」を設置することで、仲間づくりと閉じこもり防止や福祉問題の早期発見につなげるなど介護予防効果と住民同士の交流促進から互いに見守り、支えあえる地域づくりを推進するために実施した。昨年度に引き続きeスポーツにて介護予防を実施。上古閑区・黒石原区(継続)・ユトリック団地(新規)の3地区で隔週、また体験として4地区のサロンでコンピューターゲームを導入したモデル事業を実施した。</p> <p>今年度にて、2地区(武蔵野台区)にてサロン活動が終了となる。その一方で、1地区(笹原区)が立ち上がった。4地区(下町区、御領区、出分区、横町区)でサロン立ち上げに向けての協議を実施。</p> <p><input type="checkbox"/>開催カ所数 43カ所 <input type="checkbox"/>開催回数 436回 <input type="checkbox"/>利用者数 7,955人 <input type="checkbox"/>ボランティア 2,536人 <input type="checkbox"/>サロン参加者合計 10,491人 <input type="checkbox"/>見守り・訪問回数 12,814回 ※人数は延べ人数。</p>		実施日時	通年					
		実施場所	各公民館等					
		対象者	要支援者含む市民					
		人数	10,491人					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態					
82	サロンボランティア育成・研修事業	継続	合志市受託事業					
<p>サロンボランティア研修を今年度は2回実施した。コロナ感染予防のために会場の人数制限もあり1回を2日に分けて実施計4回実施した。また民生児童委員の改選で西部のサロンボランティア代表が変わられる方も多いためサロンを知っていただけの機会を持つと12月に追加で研修企画したが、コロナ感染者の増加で不安の声が上がり中止した。</p>		実施日時	左記記載					
		実施場所	ふれあい館 みどり館					
		対象者	65歳以上 サロンボランティア					
		<table border="1"> <tr> <td>実施日</td> <td>9月29日、10月4日</td> <td>2月 15、16日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>46</td> <td>47</td> </tr> </table>		実施日	9月29日、10月4日	2月 15、16日	参加人数	46
実施日	9月29日、10月4日	2月 15、16日						
参加人数	46	47						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
85	男の井戸端サロン	継続	合志市受託事業																				
<p>市内在住の概ね60歳以上の男性を対象とし経験や知恵、技を生かして無理なく出来る範囲で楽しく、生きがいを感じるような活動を社協と協働にて行っている。</p> <p>今年度は農園での活動を主とし、感染症対策を取った上での多世代交流や地域活動、会員同士のレクリエーション活動、新たに2月より月1回、周辺道路のゴミ拾いを実施。</p> <p>(活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培・販売、農園での交流活動(あぐりっこ・このみ坂保育園・社協デイ・中央小) 定例会(毎月第一金曜日) 生きがいづくり活動(登山・座禅等) 熊本高専との協働企画(スマートフォン教室) <p>(農園交流活動)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農園活動</td> <td>82回</td> <td>594人</td> </tr> <tr> <td>あぐりっこ合同</td> <td>5回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>このみ坂保育園合同</td> <td>18回</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>延べ合計</td> <td>105回</td> <td>782人</td> </tr> </tbody> </table>		活動	回数	人数	農園活動	82回	594人	あぐりっこ合同	5回	52人	このみ坂保育園合同	18回	136人	延べ合計	105回	782人	実施日時	通年 (毎週火、金 農園活動)					
活動	回数	人数																					
農園活動	82回	594人																					
あぐりっこ合同	5回	52人																					
このみ坂保育園合同	18回	136人																					
延べ合計	105回	782人																					
		対象者	シニア世代男性																				
		実施場所	ふれあい館																				
		会員数	14人																				
		実施日時	通年																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
87～ 91	認知症予防事業「脳活生き教室」	継続	合志市受託事業																				
<p>脳活生き教室を認知症の予防と学習活動を通じた交流の促進、生きがい作りの場として実施した。また、地域版として脳いきいき教室修了者へ継続的な学習の場を3箇所開設し、地域のより身近な場所で開催する事で、地域で支え合い見守りあえる関係を築ききっかけとなるよう働きかけた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>ふれあい館 (通常版)</th> <th>須屋 (地域版)</th> <th>みどり館 (地域版)</th> <th>泉ヶ丘 (地域版)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習者</td> <td>17人 ----- 188人</td> <td>14人 ----- 198人</td> <td>12人 ----- 203人</td> <td>18人 ----- 283人</td> </tr> <tr> <td>サポーター</td> <td>14人 ----- 171人</td> <td>10人 ----- 133人</td> <td>16人 ----- 128人</td> <td>15人 ----- 288人</td> </tr> <tr> <td>送迎 サポーター</td> <td>3人 ----- 26人</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>2人 ----- 35人</td> <td>3人 ----- 38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人数(上段:実人数、下段:延べ人数)</p>		項目	ふれあい館 (通常版)	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)	学習者	17人 ----- 188人	14人 ----- 198人	12人 ----- 203人	18人 ----- 283人	サポーター	14人 ----- 171人	10人 ----- 133人	16人 ----- 128人	15人 ----- 288人	送迎 サポーター	3人 ----- 26人	/	2人 ----- 35人	3人 ----- 38人	実施日時	通年
項目	ふれあい館 (通常版)	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)																			
学習者	17人 ----- 188人	14人 ----- 198人	12人 ----- 203人	18人 ----- 283人																			
サポーター	14人 ----- 171人	10人 ----- 133人	16人 ----- 128人	15人 ----- 288人																			
送迎 サポーター	3人 ----- 26人	/	2人 ----- 35人	3人 ----- 38人																			
		実施場所	左記記載																				
		対象者	65歳以上の方																				
		人数	1,691人																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
92	認知症サポーター養成事業	継続	合志市受託事業																				
<p>認知症高齢者等と家族を支えるため、認知症への対応(予防、早期発見、ケア等)を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互連携を図りながら有効な支援体制の構築を目的に実施した。</p> <p>【認知症サポーターの養成】</p> <p>認知症の方との関わり方や、地域の中で認知症の方が穏やかに生活し続けているためにできることを考えるきっかけとして、住民・こども・子育て親子・企業に「にわか劇」や認知症の動画等を用いて実施した。</p> <p>○ 実施回数・養成数/9回・732人</p>		実施日時	通年																				
		実施場所	公民館 小学校等																				
		対象者	市民全般																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
92 96	認知症地域支援体制構築等推進事業 脳ケアルーム事業	継 続	合志市受託事業
<p>コロナ禍において実施不可能な事業が多い中、MCI・認知症初期症状がある方への支援として、週1回の居場所を開催。趣旨に賛同いただいた福祉事業所を開放してもらい実施する予定であったが、感染拡大が続いたため場所を変更して本会の拠点にて実施した。</p> <p>【脳ケアルーム】 (日程) 毎週火曜日 10:00～11:30 (場所) ふれあい館 (開催回数) 43回 (メンバー) 延べ232人 (サポーター) 延べ412人</p> <p>【脳ケアルームサポーター定期研修】 (日程) 1回 (受講人数)延べ19人</p>		実 施 日 時	通年
		対 象 者	MCI 認知症初期
		延 べ 人 数	左記記載
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
93	認知症関連地域支援組織化事業 (講演会)	継 続	合志市受託事業
<p>養成した認知症サポーターの中から有志で登録をいただいた方々を「ささえ愛隊」と名付けて、認知症の方を地域で支える活動を行う。</p> <p>主な活動としては、徘徊行動による行方不明者が出た際にLINE配信を活用し、見守り活動を行ってもらった。また、認知症啓発のための活動(事業所への啓発)や学習会・講演会を実施した。</p> <p>【学習会、講演会の実施】</p> <p>○ サポーター養成講座 9回 参加者 延べ732人</p> <p>○ 講演会 9月30日(金)10時～12時 コグニサイズで認知症を予防しよう！ 講師:株式会社たぬき代表取締役 杉谷 太氏 参加者:会場20人 オンライン:脳活生き教室須屋教室</p>		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	ふれあい館
		対 象 者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
94 97	認知症地域支援体制構築等推進事業 ささえ愛ネットワーク模擬訓練、家族支援	継 続	合志市受託事業
<p>認知症に対する正しい理解を促進し、支援の輪と認知症予防に関する知識の普及を目的に研修会及び家族支援を実施した。医療機関や福祉施設の協力により、医師・看護師・精神保健福祉士等にも参加していただき、身近なところで家族同士の情報交換の場となるつどいを定期的に開催した。</p> <p>【家族のつどい】 計2回、参加者22人※大雪警報の影響で1回中止 【認知症カフェ】 計12回、参加者112人、ボランティア34人、スタッフ53人 【ささえ愛ネットワーク模擬訓練2022(南ヶ丘小学校区)】 12月4日(日) 参加者51人</p> <p>令和3年度より、実施地区を小学校区と定め、小学校との連携を積極的に行うこととし、福祉教育での認知症サポーター養成講座をはじめ、周知啓発に努めた。参加者をオンライン視聴と会場参加に分け実施した。</p>		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	ふれあい館 ほか
		対 象 者	ささえ愛隊 当事者・家族

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
95	認知症関連地域支援組織化事業 (ささえ愛隊協働・チームオレンジ・アクティブチーム登録業務)	継続	共同募金配分 金
【ささえ愛隊公式LINE開設】 ささえ愛隊公式LINEアカウントを開設し不明者情報の発信などに活用している。 ・LINE登録:211件・LINE配信数合計:420件 ・行方不明情報0件発生、その他情報発信2件		実施日時	12月
		実施場所	要支援世帯
		対象者	80歳以上 独居高齢者等
		人数	444人

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
100	介護予防把握事業	継続	合志市受託事業																		
要支援・要介護認定を受けていない高齢者に適切な介入及び虚弱状態を早期発見し①要支援等の軽度介護認定者とならないように予防すること②フレイル状態等の軽減・悪化を防止することにより、高齢者が自立した生活を維持できるようにすることを目的として実施した。 目標の訪問件数:年間54件(チェックリスト対象者70人 訪問対象者62人中) 訪問結果の内訳 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>訪問結果</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>フレイルの要素なし</td><td>21件</td></tr> <tr><td>総合事業の案内のみ</td><td>23件</td></tr> <tr><td>総合事業の申請</td><td>5件</td></tr> <tr><td>介護保険の申請</td><td>2件</td></tr> <tr><td>栄養士・歯科衛生士による訪問</td><td>0件</td></tr> <tr><td>サービス利用に繋がっていた</td><td>3件</td></tr> <tr><td>フレイルの恐れがあるが本人の拒否</td><td>8件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>62件</td></tr> </tbody> </table>		訪問結果	件数	フレイルの要素なし	21件	総合事業の案内のみ	23件	総合事業の申請	5件	介護保険の申請	2件	栄養士・歯科衛生士による訪問	0件	サービス利用に繋がっていた	3件	フレイルの恐れがあるが本人の拒否	8件	合計	62件	実施日時	左記記載
		訪問結果	件数																		
		フレイルの要素なし	21件																		
		総合事業の案内のみ	23件																		
総合事業の申請	5件																				
介護保険の申請	2件																				
栄養士・歯科衛生士による訪問	0件																				
サービス利用に繋がっていた	3件																				
フレイルの恐れがあるが本人の拒否	8件																				
合計	62件																				
実施場所	合志市内																				
対象者	左記																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
101～ 104	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 終活講座、スマホ講座、農園活動フォローアップ講座	継続	合志市受託 事業
高齢者がその知識と経験を生かし、希望と能力に応じた生産又は創造的活動に参加することによって、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものにすることを目的に実施した。		実施日時	左記記載
		実施場所	左記記載
		対象者	市民 (65歳以上)
		人数	96名
○交流会の実施 (34名の参加有り)			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
86 105、106	生きがい特別講座の開催 シニア活動の各種多方面からの促進	新 規	合志市受託事業																							
<p>高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施講座から、自主グループ(組織化)に向けて働きかけ、助成または活動支援を行った。</p> <p>① 木工やろう会 参加者数:会員 15人、延べ 92人 活動内容:生きがいの木工製作に励みながら、木工製作で地域に社会貢献をする。社協主催の木工教室での講師補助やテーブルの修理等を施行。</p> <p>② 男の出前キッチン“かせするモン” 参加者数:会員20人、延べ137人 活動内容:料理教室で習った料理を介して、地域でささやかな社会奉仕活動をする。ありがとうカフェでのデザートを提供、地元黒大豆を使用した味噌づくり。また“自宅で稲作り”“おうちで料理”と題してそれぞれ家庭で料理を作り、LINEにて紹介した)</p> <p>③ 聞き書きサークルふれあい隊 会員:9人 活動内容:地域の高齢者を語り手に、聞き書き本を製作するボランティア。今年度、地域の2人の高齢者の聞き書き本を作成した。</p>		実 施 日 時	通年																							
		実 施 場 所	ふれあい館																							
		対 象 者	市民(シニア世代)																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
107 108	生活・介護支援サポーター養成・登録管理事業 元気応援サポーター養成・登録管理事業	継 続	合志市受託事業																							
<p>地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的に持続するため、市民が主体的に運営する新たな住民参加サービス等の担い手としての育成に努めた。受講者にサポーター認定制度を取り入れ、啓発と地域での積極的活動へ促進を図った。また今年度も入門的研修と位置づけ、受講者を市認定の「元気応援サポーター(訪問型Aサービス活動者)」としての認定・登録管理を行った。今年度は、元気応援サポーターの登録は無かった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>養成種別</th> <th>受講時間</th> <th>参加人数</th> <th>新規登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入門的研修</td> <td>21時間</td> <td>15人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座種別</th> <th>認定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活介護支援サポーター(エグゼクティブサポーター)</td> <td>192人</td> </tr> <tr> <td>介護予防サポーター</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サポーター種別</th> <th>登録数</th> <th>実働数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぽっかぽかサポーター</td> <td>95人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>元気応援サポーター</td> <td>13人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>		養成種別	受講時間	参加人数	新規登録人数	入門的研修	21時間	15人	0人	講座種別	認定数	生活介護支援サポーター(エグゼクティブサポーター)	192人	介護予防サポーター	10人	サポーター種別	登録数	実働数	ぽっかぽかサポーター	95人	16人	元気応援サポーター	13人	5人	実 施 日 時	10月～12月
養成種別	受講時間	参加人数	新規登録人数																							
入門的研修	21時間	15人	0人																							
講座種別	認定数																									
生活介護支援サポーター(エグゼクティブサポーター)	192人																									
介護予防サポーター	10人																									
サポーター種別	登録数	実働数																								
ぽっかぽかサポーター	95人	16人																								
元気応援サポーター	13人	5人																								
		実 施 場 所	ふれあい館																							
		対 象 者	一般住民 家族介護者等																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
109	家族介護教室事業(スーパー・サポーター認定)	継 続	合志市受託事業																							
<p>高齢者を介護している家族等に対し、介護方法や介護予防、また家庭で起こる緊急時の対応や福祉制度等の基礎知識や技術を習得させるための家族介護教室を開催した。</p>		実 施 場 所	ふれあい館																							
		対 象 者	介護者・一般																							
		人 数	延べ87人																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>テーマ</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月1日</td> <td>介護のこれからと施設について</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>7月8日</td> <td>介護不安を解消</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>7月15日</td> <td>①救急法講習会②口腔ケアについて</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>7月22日</td> <td>①傾聴の基本②ぽっかぽかサポート養成講座</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>R5年2月19日</td> <td>講演会 えみりー氏 「ともに生きる～人とのつながりの大切さについて～」</td> <td>35人 内オンライン8人</td> </tr> </tbody> </table>		日程	テーマ	参加者数	7月1日	介護のこれからと施設について	17人	7月8日	介護不安を解消	11人	7月15日	①救急法講習会②口腔ケアについて	12人	7月22日	①傾聴の基本②ぽっかぽかサポート養成講座	14人	R5年2月19日	講演会 えみりー氏 「ともに生きる～人とのつながりの大切さについて～」	35人 内オンライン8人							
日程	テーマ	参加者数																								
7月1日	介護のこれからと施設について	17人																								
7月8日	介護不安を解消	11人																								
7月15日	①救急法講習会②口腔ケアについて	12人																								
7月22日	①傾聴の基本②ぽっかぽかサポート養成講座	14人																								
R5年2月19日	講演会 えみりー氏 「ともに生きる～人とのつながりの大切さについて～」	35人 内オンライン8人																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
110 111	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層) 生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)	継 続	合志市受託 事業
○第1層生活支援コーディネーター 活動件数 428件 ○生活支援協議体の開催 本年度はICTを活用した地域のつながりづくり、また外出支援としての移動(送迎)支援について、アイデアを出し合い協議を行った。 本会:4回(参加者延べ59人)分科会:3回(延べ26人) ○こうしぼちぼち元気ポイント制度 健康づくり、元気づくりの活動を登録し、週1回以上の通いの場創設を促す。今年度は新規1団体の登録があった。参加団体:11団体 登録者数:256人 ○第2層生活支援コーディネーター 主に旧西合志町を担当。社協の地域福祉コーディネーターやボランティアセンターと連携し、通いの場の活性化や人材育成・把握に努めた。 第2層生活支援コーディネーター業務(西部圏域)・活動件数405件		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	市内全域
		対 象 者	左記
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
110 111	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層) 生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)	継 続	合志市受託 事業
○地域げんきフォーラムの開催 「ICTを活用した地域づくり」をテーマに、各サロンや老人クラブ等の活動の活性化を図ることを目的に、合志市内でコロナ禍におけるスマートフォンなどデジタルを活用したつながりづくりの実践発表を聴く機会を設けた。今年度は市商工会と共同でボランティアなどにも協力いただき、スマホ相談会や子ども達への体験活動を実施することができた。 場所:ルーロ合志 会場参加 30人(サロン・老人会・一般市民) 各ブース参加者 77人 計107人		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	ルーロ合志
		対 象 者	左記記載
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
112	買い物支援(お出かけ応援プロジェクト)	継 続	合志市受託 事業
生活支援体制整備事業の一環として、他分野に渡る行政や企業との連携・協力により自身で買い物に行けない方への生活支援・閉じこもり予防・つながりづくりを目的に移動販売を展開。2年経過し、本プロジェクトが利用者も定着しつつある。また、本活動から新たな通いの場も生まれた。 ①南部ルート(泉ヶ丘市民センター・西須屋団地公民館・南陽公民館・須屋市民センター) ○運行回数:23回 ○延べ利用者数:1,537人 ②北部ルート試験運行(野々島市民センター・みどり館・栄体育館) ○運行日:令和5年2月21日(火) ○延べ利用者数:63名		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	左記記載
		対 象 者	高齢者を中心とした市民

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																												
114	法律・心配ごと相談(みどり館・泉ヶ丘・御代志・ふれあい館)	継続	合志市受託事業																																																												
地域住民の日常生活上の様々な悩みや相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉の増進を目的に「法律行政心配ごと相談所」を開設した。		実施日時	毎月3回 1日、10日、20日																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談項目</th> <th>件数</th> <th>割合</th> <th>相談項目</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 近隣トラブル</td> <td>17件</td> <td>6.9%</td> <td>9 人権</td> <td>3件</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>2 家庭内トラブル</td> <td>5件</td> <td>2.0%</td> <td>10 労働問題</td> <td>9件</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>3 離婚</td> <td>27件</td> <td>10.9%</td> <td>11 生活困窮</td> <td>1件</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>4 相続</td> <td>79件</td> <td>31.9%</td> <td>12 福祉・教育</td> <td>1件</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>5 借金</td> <td>26件</td> <td>10.5%</td> <td>13 暴力・虐待</td> <td>0件</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>6 不動産</td> <td>25件</td> <td>10.1%</td> <td>14 行政施策</td> <td>9件</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>7 交通事故</td> <td>1件</td> <td>0.4%</td> <td>15 悩みごと</td> <td>9件</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>8 医療トラブル</td> <td>5件</td> <td>2.0%</td> <td>16 その他</td> <td>31件</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>合計</td> <td>248件</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		相談項目	件数	割合	相談項目	件数	割合	1 近隣トラブル	17件	6.9%	9 人権	3件	1.2%	2 家庭内トラブル	5件	2.0%	10 労働問題	9件	3.6%	3 離婚	27件	10.9%	11 生活困窮	1件	0.4%	4 相続	79件	31.9%	12 福祉・教育	1件	0.4%	5 借金	26件	10.5%	13 暴力・虐待	0件	0.0%	6 不動産	25件	10.1%	14 行政施策	9件	3.6%	7 交通事故	1件	0.4%	15 悩みごと	9件	3.6%	8 医療トラブル	5件	2.0%	16 その他	31件	12.5%	-	-	-	合計	248件	-	対象者	市民全般
相談項目	件数	割合	相談項目	件数	割合																																																										
1 近隣トラブル	17件	6.9%	9 人権	3件	1.2%																																																										
2 家庭内トラブル	5件	2.0%	10 労働問題	9件	3.6%																																																										
3 離婚	27件	10.9%	11 生活困窮	1件	0.4%																																																										
4 相続	79件	31.9%	12 福祉・教育	1件	0.4%																																																										
5 借金	26件	10.5%	13 暴力・虐待	0件	0.0%																																																										
6 不動産	25件	10.1%	14 行政施策	9件	3.6%																																																										
7 交通事故	1件	0.4%	15 悩みごと	9件	3.6%																																																										
8 医療トラブル	5件	2.0%	16 その他	31件	12.5%																																																										
-	-	-	合計	248件	-																																																										
会場別人数		件数	248件																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>会場</th> <th>御代志 市民センター</th> <th>みどり館</th> <th>泉ヶ丘 市民センター</th> <th>ふれあい館</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談者数</td> <td>108人</td> <td>103人</td> <td>38人</td> <td>49人</td> <td>298人</td> </tr> </tbody> </table>		会場	御代志 市民センター	みどり館	泉ヶ丘 市民センター	ふれあい館	合計	相談者数	108人	103人	38人	49人	298人																																																		
会場	御代志 市民センター	みどり館	泉ヶ丘 市民センター	ふれあい館	合計																																																										
相談者数	108人	103人	38人	49人	298人																																																										
※人数には同行者を含む																																																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																												
115	専門相談会(月1回程度)の実施	継続	合志市受託事業																																																												
地域住民のニーズをいち早くキャッチし、多様な相談内容に対応するために、旧西合志地区の各市民センターや施設を利用し、地域特性に応じた相談内容として、各種団体や関係機関との協力・連携を深めることで地域住民の安心へと取り組んでいく相談支援を実施した。		実施日時	通年																																																												
日程:毎月第3木曜日		対象者	市民全般																																																												
場所:須屋市民センター、野々島市民センター、人権ふれあいセンター																																																															
内容:相続、成年後見、介護・認知症																																																															
相談所開設回数 : 12回																																																															
相談件数:18件(内訳:相続 9件・成年後見 5件・介護・認知症 4件)																																																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																												
116～ 118	ほっとラインの発行(年12回) 地域福祉広報強化推進事業 ホームページ運営 SNS開設運営(フェイスブック、ツイッター、YouTube)	継続	独自事業																																																												
地域福祉及びボランティア活動の情報を発信し関心ときっかけづくりに努めた。コロナ禍において、インターネット・SNS等の利用者も増加傾向にあったため、特にYouTubeやTwitterを活用し情報発信を行った。		実施日時	通年																																																												
住民参加型の支援・サービスへの取り組みだけでなく、各相談拠点の紹介等を重点に行った。		対象者	市民全般																																																												
1 ほっとラインの発行																																																															
(ア) 毎月12回発行、各区長便を通じて配布、総発行254,970部																																																															
※ ホームページ、フェイスブック、ツイッターは随時更新・発信																																																															
(イ) インターネット・SNS、YouTubeによる法人紹介と事業等の情報をリアルタイム発信、行事の募集や報告にも活用。ホームページ閲覧件数:81,545件 発信件数:Twitter:54件 Facebook:54件 YouTube:25件																																																															
2 種別広報																																																															
(ア) ふれあいサロン情報等の種別広報発行(月1回)																																																															
(イ) ファンクショナル(実用的な)広報のあり方掲示板へのチラシ掲載																																																															
広報誌のテーマは時流に合わせて検討した。																																																															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
119～ 121	出前講座・職員派遣事業(はってん組、各種講座等) 視察受け入れ、社会福祉関係講習会講師派遣	継 続	独自事業												
1 視察研修受入事業 令和4年度 計6回 人数:計102人 ※内容 ぽっかぽかサポート活動、脳ケアルーム等について		実 施 日 時	左記記載												
2 出前講座・職員派遣事業 令和4年度 計22回 ※出前先:民生児童委員、自治会、地域福祉連絡協議会、老人会、子ども会、企業等 内容:認知症サポーター、運動指導(介護予防)、認知症予防、地域福祉、福祉体験、eスポーツを通じたボランティア等		実 施 場 所	市内全域												
		対 象 者	左記記載												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
122 123	社会福祉士育成支援事業 教職員福祉体験実習支援事業	継 続	独自事業												
社会福祉士や介護福祉士の資格取得のため、またボランティア体験等を通じ、福祉の仕事に対するやりがいや関心を高めてもらう、福祉人材育成の推進を行った。社会福祉士においては育成の新カリキュラムが始まったため、より多くの学生受け入れを行っている。 令和4年度実績		実 施 日 時	左記記載												
		実 施 場 所	ふれあい館												
		対 象 者	左記記載												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校</th> <th>人 数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本学園大学</td> <td>4人</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>九州保健福祉大学</td> <td>1人</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>九州看護福祉大学</td> <td>1人</td> <td>社会福祉士</td> </tr> </tbody> </table>		学 校	人 数	内 容	熊本学園大学	4人	社会福祉士	九州保健福祉大学	1人	社会福祉士	九州看護福祉大学	1人	社会福祉士		
学 校	人 数	内 容													
熊本学園大学	4人	社会福祉士													
九州保健福祉大学	1人	社会福祉士													
九州看護福祉大学	1人	社会福祉士													

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
こども支援センター	こども支援センター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

子育てと仕事の両立で保育が必要な家庭、家庭保育やひとり親家庭など多様な子育てニーズに対応できるよう感染対策を徹底しながら子育て支援事業に取り組んだ。

(1) 地域子育て支援センター

育児休暇中の方の利用がほとんどである。職場復帰や保育園入所などの情報交換をしたり、子育てと仕事の両立の難しさに悩まれる方、育児に専念されている方の意見や悩みに寄り添いながら事業に取り組んだ。ボランティアや中高生との交流事業も実施することができた。また、情報発信のツールとしてLINE配信をしたが、配信後に予約が多くあり成果を感じた。

(2) 児童館

人数や時間制限については、コロナの感染状況を踏まえて対応した。下半期からは児童館内に職員が在中したことで利用者からの相談件数も増加した。また、職員が交代で絵本の読み聞かせや季節の遊びを取り入れながら、利用者との関わりを大切にすることを職員ひとり一人が意識できるようになった。また、出張児童館を実施したことで、新たな利用者の獲得につながった。

(3) 放課後児童健全育成事業

室内環境を見直し、スペースを確保することで、子どものトラブルが減り、落ち着いて過ごすことができた。お盆と年明けに3学童の合同保育を行ったが、職員配置や子どもの交流も含め有効であると思われるので今後も継続していきたい。また、「びーすクラブ」では、保護者から長期休暇中の朝の受け入れ時間の見直しの要望があり7時半からの受け入れを実施した。保護者から通勤に余裕ができたと喜ばれている。特性をもつ子どもへの職員配置を十分に行い、支援員間の情報を共有しながら、児童の成功体験を増やせるように事前の声掛け等に努めた。

(4) 病児・病後児保育

第7波・8波の感染拡大に伴い受入制限を強化したため利用人数は減少したが、できる限り柔軟に対応するよう心掛けた。確実な換気、空気の導線を確保し、空気中にウィルスが拡散しないように湿度をキープする等の環境整備を徹底した。また、入室の際には抗原検査を実施し、利用者、職員の安全を守るように努めた。病児病後児保育周知のために、パンフレットの内容を見直し、分かりやすいように新たに作成した。

(5) ファミリーサポート事業

本年度は、協力会員養成講座を年に2回実施したことで、協力会員の増加に繋がった。利用者の中には、利用したいが利用料金を払えない世帯があった。また相談内容も多様化しており、ひとり親家庭等日常生活支援事業の家庭生活支援員としての活動も増え、関係機関との連携を図りながら断らない支援が出来るように努めた。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) コロナ感染症の対応にむけて、制限や消毒等の新たな判断基準の策定
- (2) 子育て家庭が抱える多様なニーズへの相談業務に対応できる専門的知識の習得及び職員の技術の向上
- (3) 配置基準を満たすための人員配置の調整

3 今後の方向性

- (1) 子育て家庭に寄り添った支援、安心した環境を提供し子どもたちのすこやかな育ちを支える。
- (2) 子どもの心情や家庭環境を把握し、受容と共感しながら育成支援及び親育てにあたる。
- (3) ICTを導入し業務の効率化を図る。また、情報をタイムリーに発信し利用者増に繋げる。
- (4) 他部署、各関係機関、地域との連携を図りながら交流事業を実施する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
124 125	子育て広報促進事業(相談含む)	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 育児不安などの身近な相談の窓口として、登録、受付、相談コーナーを設置し、情報提供するとともに情報誌の発行を行った。 合志市保健師の赤ちゃん訪問事業と連携し、こども支援センター事業の一覧チラシ配布を行った。母子手帳配布の際、あそびのへや・BPプログラムのチラシを配布し妊婦さんへの周知促進を図った。こども支援センターLINEでは行事の受付開始や報告、開館情報などを発信し情報提供を行った。 <実績数> ・こども支援センターだより・ほっとライン・・・毎月1回発行 ・ホームページ 常時掲載・更新 ・こども支援センターチラシ配布 毎回赤ちゃん訪問 ・LINE配信 イベント開催や募集時 登録者数 276名 <相談実績数> ・来所相談、コーディネート 3,191件 ・電話 938件		事業費	地域子育て支援事業 8,973千円															
		実施日時	月～土															
		実施場所	ふれあい館															
		対象者	妊婦、子育て世帯															
		人数	相談数4,129件															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
126	あそびのへや(0～1歳)	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 同年齢の子どもを持つ親子の集まる場をつくり、育児力を育てることを目的に育児相談や情報交換、育児援助を行った。年齢ごとに開催することで、子育ての悩みも共有しやすく、悩みや不安の軽減につながっている。また、あかぐみ開催日時の中で、離乳食教室を開催。管理栄養士に直接相談できる場を設け、離乳食についてアドバイスを受け、月齢の近い親同士で情報共有を行った。 <利用実績>		事業費	地域子育て支援事業															
		実施日時	毎週水曜/第1・3月曜 10時30分～11時30分															
		実施場所	ふれあい館															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施日</th> <th>実施回数</th> <th>保護者</th> <th>こども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あか組(0歳)</td> <td>毎週水曜日</td> <td>46回</td> <td>712名</td> <td>708名</td> </tr> <tr> <td>とことこ(1歳)</td> <td>第1・3月曜日</td> <td>21回</td> <td>217名</td> <td>210名</td> </tr> </tbody> </table>		区分	実施日	実施回数	保護者	こども	あか組(0歳)	毎週水曜日	46回	712名	708名	とことこ(1歳)	第1・3月曜日	21回	217名	210名	対象者	0歳
区分	実施日	実施回数	保護者	こども														
あか組(0歳)	毎週水曜日	46回	712名	708名														
とことこ(1歳)	第1・3月曜日	21回	217名	210名														
		人数	自由参加 参加総数1,847名															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
127	子育て社会体験事業	継続	独自事業															
(事業の内容及び実績) 就園前の子どもとその親が、公共の場所への外出などを通して、集団の中での様々な経験や自然体験をすることで社会性や感性を育てることを目的に実施した。 ○わっこくらぶ野外活動 ・実施回数 1回 ・参加者数 保護者 13名、こども 18名		事業費	地域子育て支援事業															
		実施日時	随時															
		実施場所	飯高山															
		対象者	就園前の親子															
		人数	参加者総数31名															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																															
127	わっこくらぶ	継続	合志市受託事業																															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>親子の集まりを毎週実施し、家庭保育中の親子の閉じこもりを予防、保護者のつながりができるようなきっかけづくり、育児相談、地域の子育て関連の情報提供などを行った。コロナウイルス感染防止に配慮し、毎回15組程度の受け入れとし、安全、安心して参加する中で、季節に合わせた様々な体験や音楽あそび、発達に応じた運動遊びなどができるように活動を行った。</p> <p><利用実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 42回 ・参加人数 保護者 543名 子ども 697名 講師 2名 		事業費	地域子育て支援事業																															
		実施日時	毎週木曜日																															
		実施場所	ふれあい館																															
		対象者	就園前の親子																															
		人数	登録あり自由参加 参加総数 1,240名																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																															
135	地域子育て文化交流事業	継続	独自事業																															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>乳幼児を持つ親子が気軽に音楽に触れる機会や、文化的体験に参加して子育ての負担感をなくし子どもと一緒に楽しむ機会を地域住民の協力により実施した。一部新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>保護者</th> <th>子ども</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリスマス交流音楽祭</td> <td colspan="4">コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>音楽会</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>もちつき</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>ミュージックケア</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td colspan="4" rowspan="2">コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>茶話会</td> </tr> </tbody> </table>		内容	回数	保護者	子ども	合計	クリスマス交流音楽祭	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				音楽会	1	12	16	28	もちつき	1	11	14	25	ミュージックケア	1	12	17	29	おはなし会	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				茶話会	事業費	地域子育て支援事業 共同募金 他
		内容	回数	保護者	子ども	合計																												
		クリスマス交流音楽祭	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																															
		音楽会	1	12	16	28																												
		もちつき	1	11	14	25																												
		ミュージックケア	1	12	17	29																												
		おはなし会	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																															
茶話会																																		
実施回数	3回																																	
実施場所	ふれあい館																																	
対象者	就園前の親子																																	
延利用数	82名																																	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																															
128	障がいをもつ子どもの支援	継続・新規	共同募金配分金																															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>発達に心配のある児童が、音楽や遊び(運動・おもちゃ)を通して心の安定をはかり、身体機能の発達を促すと共に、仲間との関係づくりを行っていくことを目的に実施した。専門知識を持ったボランティアの協力を得ながら取り組み、療育への足がかりとなるように実施した。新規利用者も増え、更なる感染症対策として、消毒の徹底を図った。また、障がい児の親の会については、新たに親の会(まあぶる)を立ち上げ、次年度から本格的に活動を開始するため、準備を行った。</p> <p>○おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ 実施回数 12回・保護者60名・子ども96名・ボランティアその他 39名 ○親の会(まあぶる) 実施回数 3回 保護者28名 子ども7名</p>		事業費	障害者福祉活動費																															
		実施日時	毎月第4土曜日 年間計画による																															
		実施場所	ふれあい館																															
		対象者	障がいもつ子どもと 保護者																															
		人数	230名																															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
128	おもちゃ図書館ひかり	継続	独自事業
(事業の内容、実績) 障害の有る無しに関わらず、親子でたくさんのおもちゃの中から、自分の好きなおもちゃを選び自由に遊んだり、親子で絵本を読んだりする場及びふれあい館まで来られない家庭への拠点となるように実施した。 実施回数 7回・保護者13名 子ども13名		事業費	地域子育て支援事業
		実施日時	毎月第4月曜日 年間計画による
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター
		対象者	就園前親子
		人数	26名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
129	にこにこツインズ(ふたごちゃんのつどい)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 同じ悩みをもつ家族同士の集いの場を提供し、仲間づくりや情報交換をしながら、育児不安を解消する力を育むことを目的に開催した。 妊娠中の方の参加もあり、会を通してタイムリーな情報を得る事で多胎児育児のコツを知ったり、多胎児に特化した悩みや大変さ、子育ての喜びを共有したりする中で原動力となり、同じ境遇の方との繋がり作りのきっかけとなった。 コロナの影響で今年もボランティアの協力を見合わせ、職員で対応した。 <利用実績> 実施回数 3回 参加人数 保護者 4名 子ども 8名 ボランティア 0名		事業費	地域子育て支援事業
		実施日時	原則奇数月 第2月曜日10時半～
		実施場所	ふれあい館
		対象者	多胎児をもつ保護者 (妊婦も含む)
		人数	12名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
130 131	講習会の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 育児不安の解消や親子の愛着を深めることを目的に各種講習や年齢に合わせた保育講座や、3年ぶりに子育て講演会を実施するにあたり、密を避けるため、ふれあい館とZOOMに分け、感染対策を講じながら実施した。 ○離乳食教室 実施回数 4回(6, 9, 12, 3月) 参加人数 保護者 80名、子ども 79名、その他 4名 ○BPプログラム 実施回数 4回(5月、9月、12月、3月) 参加人数 保護者 91名、子ども 91名 ○子育て講演会 田尻由貴子氏 『命の大切さ』 参加人数 大人 24名(zoom10名) 中高生 23名 講師 1名		事業費	地域子育て支援事業
		実施日時	未実施
		実施場所	ふれあい館
		対象者	各時期にあった親子 とボランティア
		人数	393名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
132	BP(親子の絆づくりプログラム事業)	継続	合志市受託事業																																																
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>初めて子育てをする親子が集まり、育児の喜びや困りごと、親としての迷いなどを話し合いながら、親育ちのプログラムにより0歳時期に知っておきたい子育てについて必要な知識を学び、自分にあった子育てについて考え、悩みの解決・まわりの助けを得ることに気づくことにつなげた。また、あかぐみへの参加につながった。周知には、2ヶ月訪問時に市役所保健師に協力得て、チラシの配布を行うことができた。また、コロナ禍ではあったが、子育て世帯にとって必要なプログラムであるため今年度から4回の実施とした。</p>		事業費	地域子育て支援事業																																																
		実施日時	年4回(5/9/12/3月)																																																
		実施場所	ふれあい館																																																
		対象者	2～5ヵ月までの親子 1回8～12組																																																
		参加者数	182名																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5月</th> <th>9月</th> <th>12月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>			5月	9月	12月	3月	開催日数	4回	4回	4回	4回	保護者	30	11	23	27	子ども	30	11	23	27																														
	5月	9月	12月	3月																																															
開催日数	4回	4回	4回	4回																																															
保護者	30	11	23	27																																															
子ども	30	11	23	27																																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
133	子育てサロン事業	継続	その他の事業																																																
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>地域のボランティア、民生委員の方が中心となり、支えあい安心して子育てができるような地域を目指して開催した。最近では、地域とつながりをもちたい保護者も増加傾向にあり、サロン参加者が就園後にボランティアとしての活動の場につながっている。</p> <p><利用実績>感染拡大防止のため活動自粛するサロンもあった。</p>		事業費	各サロンの助成金 270,180円(共同募金)																																																
		実施日時	月1回程度、7か所																																																
		実施場所	公民館等																																																
		対象者	就園前の親子																																																
		延利用人数	1,011名																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サロン名</th> <th>回数</th> <th>保護者</th> <th>子ども</th> <th>ボランティア</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばおぞう(笹原)</td> <td>10</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>ひよこサロン(東須屋)</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>44</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>コアラサロン(武蔵野台)</td> <td>10</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>32</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>サロン愛(南須屋)</td> <td>10</td> <td>95</td> <td>97</td> <td>41</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>バンダサロン(杉並台)</td> <td>8</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>48</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>こぐまサロン(新開)</td> <td>11</td> <td>60</td> <td>67</td> <td>72</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>めだかサロン(若原)</td> <td>10</td> <td>49</td> <td>66</td> <td>84</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table>		サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計	ばおぞう(笹原)	10	24	27	20	71	ひよこサロン(東須屋)	8	24	24	44	92	コアラサロン(武蔵野台)	10	42	42	32	116	サロン愛(南須屋)	10	95	97	41	233	バンダサロン(杉並台)	8	26	27	48	101	こぐまサロン(新開)	11	60	67	72	199	めだかサロン(若原)	10	49	66	84	199		
サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計																																														
ばおぞう(笹原)	10	24	27	20	71																																														
ひよこサロン(東須屋)	8	24	24	44	92																																														
コアラサロン(武蔵野台)	10	42	42	32	116																																														
サロン愛(南須屋)	10	95	97	41	233																																														
バンダサロン(杉並台)	8	26	27	48	101																																														
こぐまサロン(新開)	11	60	67	72	199																																														
めだかサロン(若原)	10	49	66	84	199																																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
135	地域子育てふれあい交流事業	継続	独自事業																																																
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>乳幼児から高齢者、障がいを持った方や地域の方、ボランティア、民生委員児童委員などとの交流を促進し、孤立しがちな核家族の親子が異世代の交流を通してつながりをもち、大切なことの伝承や人とふれあうことで、互いに理解を深め、支えあう地域づくりを目的に実施している。今年度はサロンボランティアの方と3年ぶりに『ミニ交流運動会』を実施することができた。</p> <p><活動実績></p> <p>2～3歳児対象 10月20・27日 保護者27名 子ども33名 ボランティア5名 1歳児対象 10月31日 保護者17名 子ども17名 ボランティア6名</p>		事業費	地域子育て支援事業																																																
		実施日時	10/20, 27, 31																																																
		実施場所	ふれあい館																																																
		対象者	就園前の親子																																																
		延利用数	105名																																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136 137	児童センター設置運営事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 地域の子どもたちが健全な遊びを通じて、健康や体力を増進し、情操を豊かにしていくための施設として設置・運営した。 ゆうぎしつ・あそびにわ、児童図書を設置、おもちゃの貸出・管理、利用者登録管理、子育て支援の情報提供と相談、安全点検管理を行った。 コロナウイルス感染状況や社会情勢を鑑みて、受け入れ基準を定めた。マスク着用・検温を入室時に行い人数・時間制限を設け、換気や遊具消毒など感染対策を実施して開館した。 <開設日数>288日 <開設時間>午前9時00分～午前11時30分 午後1時00分～午後4時30分(日曜日は休館) <新規登録>こども 1,466名 保護者・大人 706名 <利用者数>幼児 3,873名 小学生 91名 中・高校生1名 保護者2,860名		事業費	児童センター事業 5,000千円
		実施日時	月曜日～土曜日(休館:日 祝日・年末年始)
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	6,825名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136・ 139・143	児童厚生員の設置事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 遊びや生活を通して健全育成を行うと共に、子どもや保護者が抱えている課題に対応し関係機関に繋いだ。また、母親クラブ等の地域組織の育成及び支援を行った。『ちよこつとタイム』を毎日行い、読み聞かせや手遊びを行い親子でふれあいの時間となり定着している。行事については、地域の方との交流の機会として「エンジョイファーム」での野外活動に取り組み、地域資源を活用した異世代交流活動を実施した。例年、夏に企画していた「キッズフェスティバル」は気候の良い秋に実施とした。12月にはドライブインシアターを開催し、小さい子を持つ親や障がいを持つ家族も周りを気にする事なく、コロナ禍でも家族単位で安心・安全に楽しめるものであり、好評であった。 <利用者数> ○文化交流行事 (フルーツコンサート・エンジョイファーム・キッズフェス・みんなでクリスマス・ドライブインシアター・コマ作り・あおぞらお花見会) 922名 ○月曜日～金曜日(木曜日を除く)“ちよこつとタイム”として、読み聞かせ・体操、手遊び・ふれあい遊び等を行い、子育て相談を実施。 603名 ○西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)では、サークル活動運営・入会に関する相談支援等を実施。 ○月1回の避難訓練(火災・地震・不審者対策) 73名 ○相談対応 87名		事業費	児童センター事業
		実施日時	開館日:月曜日～日曜日 290日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	1685名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
140 145	親と子の食事セミナー自然体験活動事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの栄養・食を通じた心の健全育成や、家族団らんの食事の楽しさ等を学ぶため、食事に関する講習会を行うとともに、親子や親同士の交流事業を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、野外活動、野外で出来る調理、各自で作る等の工夫を行い、この時期においても食の大切さを知らせ、生きる力を育むことを目的に実施した。 <利用者数> 稲収穫体験 22名 ロールパンサンドを作ろう 12名 あぐりっこくらぶ 138名 たけのご掘り 19名		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日・長期休暇中
		実施場所	ふれあい館・ふれあ い農園
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	191名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
141	長期休暇等の児童館特別企画	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 長期休暇等の期間を活用し、地域の方を講師に招いたり、この時期にしかできない体験を行うことにより、感性を高め、仲間づくりや児童の健全な育成を図ることを目的に実施した。また、今年度から遊びの提供の場としてアウトリーチ(出張児童館)に取り組み、地域のボランティアとの協働や、保護者主催の学校でのイベントに参加したりしながら実施した。 <利用者数> ・出張児童館 8/11(木) みどり館 36名 3/12(木) 東小学校 270名 ・水遊び 46名		事業費	児童センター事業
		実施日時	休暇中
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	352名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
142	児童福祉週間特別事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 児童福祉週間に伴い、児童の健全育成や親子・地域のふれあい交流の啓発を目的として開催。標語や来館者による子どもへのメッセージの掲示を行った。地域のボランティアの方と共に、ふれあい館玄関外に多くのこいのぼり掲揚を行った。		事業費	児童センター事業
		実施日時	5月5日～11日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
146	体力増進活動	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 運動やスポーツを通して心と身体の健康づくりや意欲向上を図り、児童やその家族が健康・体力活動に取り組むことによって、家庭での健康づくりを推進するために事業を実施している。コロナ禍で2年間実施ができていなかった「かけっこ教室」を2年ぶりに開催する事ができた。 <利用者数> かけっこ教室 27名 テニス体験 12名 親子サッカー体験 35名		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	74名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
147	子育てサークル育成事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの社会性を育むための交流活動や保護者同士の情報交換、学習会、食育などを行う子育て中の親子が自主的に集まるグループ育成に努め、地域の「子育て力」を高め、共に育ち合う豊かな子育てを応援する事を目的として事業を実施した。活動が円滑に行われるために助成金の整備、場所の提供、活動内容の相談及び協力、会員の紹介等を行った。1団体は調理が中心である為、コロナ禍で中々思うように活動ができない事から継続するかを検討されていた。感染対策を行いながら工夫して活動をされ、次年度から参加メンバーも変わり新しい形で運営される。 <利用実績> ○アリスくらぶ(就学前親子) 遊びを通して親子で仲間作り。子育ての悩みや情報交換をしながら互いに育ちあう。 ○クッキングママ(就園前の親子と子育て中の親)食育を通して仲間作り ○西児童館サークル会議を1回実施		事業費	各サークル助成金 60千円(共同募金)
		対象者	2団体
		実施場所	ふれあい館
		対象者	就学前親子
		延べ参加数	602名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
148 149	年長児(小学生年長児・中高生)等来館促進事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 音楽やスポーツ等を通して、同世代の交流・情報交換ができることを目的に居場所づくりを促進した。赤ちゃんふれあい交流では、赤ちゃんや保護者と関わり命の大切さや親への感謝、自己肯定感を高め将来の子育ての貴重な体験とし虐待予防につなげることを目的に開催した。今年度は講師を招いて「命の大切さ」について学ぶ機会とした。また、中高生の居場所づくりは音楽スペース開放を実施し、行事としてドラムレッスンを開催した。 <利用者数> 赤ちゃんふれあい交流体験 中高生 23名 中高生居場所づくり 16名 ドラムレッスン 15名		事業費	児童センター事業
		実施日時	中高生居場所作り 土曜日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	小学年長児～ 高校生
		人数	54名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
150	ファミリーサポートセンター事業 コーディネーターおよびアドバイザーの設置	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 核家族化や都市化の進展により、家族や現行の保育サービスでは応じきれない保育ニーズを補完し、仕事と育児の両立を支援するために会員登録制による組織化を行った。会員相互による育児の援助活動の調整等を行うコーディネーターの設置により、保育ニーズに合わせた協力会員のコーディネート柔軟に対応し、市役所(子育て支援課・保健師)、保育所や医療機関など子育て支援関連機関との連絡調整を行い、サポートセンター活動を展開した。南ヶ丘福祉支援センターでも登録・報告書の提出が可能なるように対応した。 <活動時間> 6時～22時 <利用料金> 月～金 7時～20時 700円、 早朝・夜間・土・日・祝日800円 ※市内在住の方は市が半額助成 <広報>ファミサポ通信		事業費	17,260千円
		実施日時	月曜日～土曜日 8時30分～17時30
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生(障がいをもつ18歳)の保護者
		人数	会員総数 1,633名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
151	ファミリーサポートセンター事業 会員登録及びサービス利用の促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 必要とする方に周知するため、保育所や市内医療機関にサービスの説明やチラシの設置協力を行った。 また、産褥期や多胎児を育てる家庭の家事支援についての相談対応を継続し、育児不安に対応を行った。 <会員登録数> ・利用会員1,151名 協力会員403名 両方会員79人 <利用状況> ・活動件数1,945件 活動時間 8,461時間 ・月平均件数 162件 <主な内容> ・保育所、幼稚園の送り 82件 ・保護者講習会の参加や多胎児支援 307件 ・保護者のリフレッシュ 150件 ・子どもの習い事等の場合の援助 96件		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	活動時間 6時～22時
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生 (障がいをもつ18歳)
		人数	会員総数 1,633名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
152-156	ファミリーサポートセンター事業 会員養成講習会および交流会の開催	継続	合志市受託事業
<養成講座> ファミリーサポート協力会員養成講座、24時間以上(全11日間) 延べ受講者数 233名 <交流会> 会員の親交を深めるとともに、会員の情報交換の場を目的に年3回開催した。 1/27(金)2/3(金)2/10(金) 利用会員2名 協力会員7名 両方会員4名 こども5名 計18名 (内容)自己紹介、事業紹介、茶話会 預かる側の協力会員・両方会員のフリートーク <全体交流会> 新型コロナウイルス感染症、蔓延防止のため中止		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	全14日間
		実施場所	ふれあい館、南ヶ丘福祉支援センタ
		対象者	登録会員及び会員になりたい方
		人数	参加総数 251名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
155	緊急サポートネットワーク事業 深夜・お泊り支援の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない お泊り保育を補うことで、より充実した援助活動を実施した。24時間対応携帯電話により緊急時の相談に対応した。 <利用料金> 小学生 4,000円 3歳～就学前 5,000円 3歳未満 6,000円 ※市が半額助成、その他実費負担あり <会員登録数> ・利用会員 592名 ・協力会員 134名 総数726名 <利用状況> 利用件数 390件(1世帯)		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	20時～翌8時
		実施場所	原則 協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員 726名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
155	緊急サポートネットワーク事業 病児預かり促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない病院受診・病児預かりを補うことで、より充実した援助活動を実施した。保育所・医療機関の協力もあり、スムーズに行うことができた。 <利用料金> 月～金 1,000円、土1,100円 (日・祝日の活動は原則として行わない) ※市が半額助成、その他実費負担あり <会員登録数> ・利用会員 592名 ・協力会員 134名 <利用状況> ・緊急サポート活動 (病児預かり1件)		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	病児預かり7:30～20 病院受診9～18
		実施場所	原則協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員726名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-160	病児・病後児保育事業「すこやか」	継続	合志市受託事業
(事業内容) 病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を目的に実施した。嘱託医の協力により、職員のスキルアップ研修実施や病状の変化を相談しながら保育を行った。預かりを通して、保護者に子育てや病気時の対応について助言し、病気の子どものお世話と仕事の両立をする保護者に寄り添う支援を行うことができた。コロナウイルスの流行に伴い感染防止の観点から1人1部屋(個別対応)とし保育を行った。 (実績者数)4～5月は合志市在住者のみ、6月以降は確定診断があるお子様風邪/胃腸炎不可1人1部屋(定員3名に制限) 制限により利用者減少となった ・総登録者数4,030名(新規登録 170名)・延利用数 74名(市外利用者16名) ・利用世帯状況(課税49非課税0 非課税ひとり親 3 生活保護 0) ・当日及び前日キャンセル 21名 ・基準に基づき利用不可 134名 ・開設日数294日(日・祝日、12/29～1/31は休日)(利用料金/1日) 5時間未満は半額 課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円 非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出		事業費	病児保育事業 13,126千円
		実施日時	月～金7:30～18:00 土曜日7:30～13:30
		実施場所	ふれあい館
		対象者	市内、熊本市在住、保護者が市内に勤務する (2ヶ月～小学3年生など)
		人数	定員3名,利用総数 74名(内市外16名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
161	病児・病後児保育事業 月曜こども健康・育児相談	継続	独自事業
(事業の内容、実績) 子どもの健康や、育児に関する相談について、病児病後児担当の看護師またはこども支援センター保育士等が対応し、身近な相談窓口として育児不安の解消になるように寄り添った対応を心がけながら実施した。事前予約制を取り入れ、主に南ヶ丘福祉支援センターで実施。利用者の数も増加している。 (相談内容) ・体重測定や発達等(言葉や発達遅延の悩み)に関すること ・離乳食に関すること (食量・食事形態について) ・子どもの病気に関すること (アレルギーや皮膚トラブルの対応等) ・便秘等排泄に関すること ・睡眠、夜泣き、断乳に関する事、母親の体調に関すること		事業費	病児保育事業
		実施日時	毎月曜日 10:00～11:30
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター ふれあい館
		対象者	全子育て世帯
		人数	108名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162-164 166	キッズクラブの設置運営	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に各学校で実施している学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な児童を優先して実施した。家族状況が急遽変わり、支援が必要な児童についても迅速に対応した。今年度は感染対策として、手洗い場の自動化や空気循環を良くするサーキュレーター等の導入を行った。また、1人で過ごせる場の設置とイヤーマフを購入したことで、勉強中の集中力向上やゆっくりしたいこどもが過ごせるようになった。夏休みに毎年実施している平和交流は、感染症対策を徹底して実施。こども達が分かりやすいよう、身近なアニメ等を用いて話をした後、実際に使われていた物を見たり当事者からの話を聞いたりしたことで、平和の大切さを学ぶ良い機会となった。 <利用料> ・基本料金 3,000円 ・月曜日～金曜日 300円(軽食付) ・土曜日・長期休暇等 600円(軽食付) <利用状況> ・延利用者 6,234名(平日平均利用数25名) 開所日数 269日		事業費	放課後児童健全育成事業費 16,373千円
		実施日時	月～金 12時～20時 土 8時～20時 長期休暇 9時～20時 年間 269日開設
		実施場所	ふれあい館
		対象者	西合志東小、西合志南小、 西合志中央小 1～6年生
		人数	(年度当初)定員40名 (年度末)定員38名 延利用数 6,234名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
165 166	学童クラブ障がい児受入	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 障がいのある子どもが、学童クラブを利用する機会を確保し、子ども同士が生活を通して共に成長できるよう職員配置を行い、保護者や関係機関と連携をとり支援を行った。		事業費	障害児預かり事業 7,824千円
		実施日時	各学童クラブと同じ
		実施場所	各学童クラブと同じ
		対象者	障がいがある児童
		人数	登録数 5名 延利用数 578名
	(登録数)	(延べ利用数)	
	キッズクラブ 3名	362名	
	くすの木クラブ 1名	78名	
	ピーオクラブ 1名	138名	
	(計) 5名	578名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162-164 166	第一小学校地域学童クラブ(くすの木クラブ)の設置運営	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間保育が出来ない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。また、コロナ禍の中で、衛生管理に配慮した活動の実施をした。学校との連携を密に取り、情報共有に努めた。また、地域の中にある学童として子どもたちに意識させるために、隣接する公園の清掃や長期休暇時には公共施設の活用を行った。 <利用料> ・通常月 7,000円 ・4、7、12月 8,000円 ・8月 10,000円 ・土曜利用料 1回600円 ・延長利用料 200円/1回 <利用状況> ・延べ利用者数 3,106名 (平日平均利用 12.7名) 開所日数 255日		事業費	放課後児童健全育成事業 9,940千円
		実施日時	月～金 12時～19時 土 8時～19時 長期休暇 8時～19時 年間 255日開設
		実施場所	立割老人憩いの家
		対象者	西合志第一小1～6年生
		人数	(年度当初)定員19名 (年度末)定員19名 延利用者数3,106名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-160	病児病後児保育室「陽(光)」の設置運営	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、生後2ヶ月から原則小学校3年生まで(センター長が認めたものは小学校6年生まで)の児童を対象に、胃腸炎を除く病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的に実施した。</p> <p>(実績者数)、感染予防の為に定員を1人と制限した為、人数減少となる</p> <p>延べ利用数 6人(市外利用者数 0人)(課税世帯 6人非課税世帯0人非課税ひとり親世帯 0人 生活保護世帯0人)</p> <p>開設日数 244日(土日・祝日、12/29~1/3は休日)</p> <p>《利用料金/1日》 *5時間未満は半額。</p> <p>課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円</p> <p>非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出</p>		事業費	8,049千円
		実施日時	月曜日～金曜日 7:30～18:00
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
		対象者	生後2ヶ月～ 原則小学校3年生
		人数	定員1名,利用総数6名 (内市外0名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162-164 166	学童保育「ピースクラブ」の設置運営	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかりにおいて、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に学校の学童クラブでは対応できない児童を対象に実施した。年々増加している待機児童の受け皿として対応を図った。</p> <p>今年度はコロナ禍ではあったが、長期休暇中に地域のボランティアの方に来ていただき、交流を図ることができた。また、昼食やおやつなど手作りする機会を設け、食育にも取り組むことができた。</p> <p><利用料></p> <p>・通常月 7,000円 ・4、7、12月 8,000円</p> <p>・8月 12,000円 ・土曜利用料 1回600円</p> <p>・延長利用料 200円/1回(2000円/月)</p> <p>(利用状況)</p> <p>・延べ利用者数 2,527人 平均利用者数(日) 10.3人</p> <p>・開所日数 255日</p>		事業費	8,319千円
		実施日時	月～金 正午～午後8時 土曜日午前8時～午後8時 長期休暇午前7時半～午後8時
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
		対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年
		人数	(年度当初) 16名 (年度末) 14名 延利用者数2,527名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
167 168	ひとり親家庭等日常生活支援事業 「生活援助員派遣事業」「子育て支援員派遣事業」	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>ひとり親家庭等が修学や疾病等の理由により一時的に家事、育児等の日常生活に支障が生じた場合に、家庭生活支援員が児童の世話、家事等日常生活の支援を行うことを目的に家庭生活支援員の調整を行い、ひとり親家庭等の生活の安定や自立を支援した。</p> <p>※家庭生活支援員は熊本県家庭生活支援員養成講習会を修了したもので、生活援助員派遣はホームヘルパー3級以上の有資格者とする。及び、ファミリーサポート養成講座を受講したもの。</p> <p>(利用実績)</p> <p>・4月 1回利用(生活援助)</p> <p>・5月 2回利用(生活援助)</p> <p>・R5・3月 4回利用(生活援助)</p>		事業費	事務費300円×日数 支援員活動費
		実施日時	4/30 5/1.2 R5.3/7.8.9.10.
		実施場所	利用者自宅
		対象者	児童を養育する母子・ 父子家庭及び寡婦
		利用者数	2人 延べ利用数 7回

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
169	合志市子育て短期支援事業	継続	合志市受託事業										
(事業内容) 保護者が仕事やその他の理由により夜間や休日に不在となる家庭において児童を養育することが困難となった場合や緊急の場合において、児童を保護し、食事等の提供。 (利用実績) 今年度利用なし		事業費	実施要綱基準額による										
		実施日時	必要時に市より依頼										
		実施場所	こども支援センター										
		対象者	保護者の仕事等により夜間等に不在										
		利用者数	利用なし										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
170	ふら〜っとホーム太陽事業	継続	その他の事業										
(事業内容) 地域の福祉力を高めていくため、南ヶ丘地域の福祉の拠点となり得るよう事業推進を行った。また、社会環境の変化に伴い複雑化・多様化している地域の人々の悩み事や困りごとを確実に受け止め、総合的かつ適切に対応できるようにするため相談支援を行った。0 (利用実績) <table border="1" data-bbox="188 1104 796 1314"> <thead> <tr> <th>利用区分</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者サロン</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>専門相談(行政書士)</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>お元気コール</td> <td>300回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>346回</td> </tr> </tbody> </table>		利用区分	回数	高齢者サロン	36回	専門相談(行政書士)	10件	お元気コール	300回	計	346回	事業費	事業ごとに設定
		利用区分	回数										
		高齢者サロン	36回										
		専門相談(行政書士)	10件										
		お元気コール	300回										
		計	346回										
実施日時	事業ごとに設定												
実施場所	南ヶ丘福祉支援センター 一輝き館ひかり												
対象者	合志市市民												
利用回数	432回												

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	デイサービスセンター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

新型コロナへの感染リスクが高い通所サービスの営業では、感染対策とともに筋力、認知機能の低下予防に努め、利用中は適宜検温と体調管理を行い安全、安心して利用できるようサービス提供に努めた。

(1) 感染者の発生による営業休止。

- ① 令和4年12月、職員、利用者に感染者が発生。ふれあい館デイサービスを3日間休業。
- ② 感染予防対策として、今年度も各所に消毒液設置を行い、利用者・職員共にマスク着用の徹底、一日2回の検温、手指消毒の実施。デイホール全域の椅子、テーブル、手すり、福祉用具等の朝夕の消毒、送迎車も使用直後に車内消毒を実施した。全ての対策を当面の間、継続予定。
- ③ デイホール及び食堂ホール内の密集を防ぐ為、介護保険利用者(含む生活介護利用者)と第一号利用者とは別室で事業を実施した。今後も利用者数に応じて実施する。

(2) 指定第一号通所事業:要支援認定者

- ① 月平均利用者数は前年度に比べ29%の減少であった。
- ② 職員、利用者コロナ感染のまん延に伴い12月13日、16日の2日間の休業を行った。12月20日からは通常どおり営業した。その後の感染拡大はなし。

(3) 指定通所介護事業:要介護認定者

- ① 職員、利用者コロナ感染のまん延に伴い12月13日～12月16日の3日間の休業を行った。12月17日からは通常どおり営業した。その後の感染拡大はなし。
- ② 関係機関との連携が取れたことによる、新規利用者の増加につながった。
- ③ 主に独居高齢者のための延長サービスに代わる夕食弁当持ち帰りは継続中。服薬忘れを防ぐ為、配薬カレンダーの確認や声掛けも送迎時に支援した。

(4) 生活介護事業:障害福祉サービスの基準該当サービス

- ① 月平均利用者数は前年度に比べ10%の減少であった。

(5) 通所型サービスA:合志市委託事業

- ① 新規利用者の獲得をするため包括支援センターと連携を図ったが、利用者増とはならなかった。
- ② 職員のコロナ感染による事業の中止を1週間×2回を行った。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 年末年始や祝日といった休日の利用ニーズに対応する専門職の確保と採算性。
- (2) 通所介護事業を継続していくための介護職員の高齢化に伴う若い職員の確保。
- (3) 介護の重度化や認知症、医療ニーズの高い方の受入れを見据えた職員の質の向上と看護師を中心とした緊急時や看取りの体制整備。

3 今後の方向性

- (1) 法改正に伴う加算関係の変更に対応する為の研さんを行い、さらなる加算取得と支援内容の向上を目指す。
- (2) 在宅生活継続と心身機能維持のためにも通所サービスの必要性は依然高いと考えられるので、感染予防対策の徹底と安定した事業継続を図っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
171	介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスA(みどり館)	継続	合志市受託事業								
(事業の内容) 営業日は水曜・木曜・金曜。介護予防を目的に運動指導や栄養、口腔指導、認知症予防の脳トレ、レクリエーションを通して楽しみとなる趣味活動を実施。コロナ禍の中、毎回の検温や手洗い・消毒など感染予防対策を徹底し、季節ごとの行事や創作活動を行うこともできたが、感染拡大により1週間×2回の閉鎖となったこともあり、今後も感染対策は継続していく。一日の利用人数を踏まえて、来年度へ対象者の地区の編成を市役所へ提案を行った。要支援の利用者の増加も増えている。状態の観察を継続し、各部署への連携を図っていく。		営業日	水曜日 木曜日 金曜日								
		営業時間	10:00～15:00								
		休日	祝日 12/29～1/3								
		対象者	65歳以上								
		利用定員	15人								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>年間利用数</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所型A</td> <td>1281人</td> <td>136日</td> <td>9.4人</td> </tr> </tbody> </table>				内容	年間利用数	開設日	1日平均	通所型A	1281人	136日	9.4人
内容	年間利用数	開設日	1日平均								
通所型A	1281人	136日	9.4人								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
172	総合事業:第1号通所事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業								
(事業内容) 要支援1, 2の方を対象に、介護予防・日常生活の自立を目的に支援を行った。介護予防の観点から、運動機能向上・口腔機能向上・認知症予防・低栄養の予防を目的に講話を行った。コロナ禍の中、毎回の検温や手洗い・消毒など感染予防対策を徹底し、季節ごとの行事や創作活動を行うこともできたが、感染拡大にて、1週間休止を行ったこともあり、今後も感染対策は継続していく。運動や口腔ケアは自宅でも取り組めるように元気積立帳を作り、介護予防への取り組みの強化を図り、機能低下防止に努めた。一日の利用人数が減少していることもあり、活動の活性化を図るため、曜日の編成を火曜日～金曜日⇒火、水、金曜日へ変更を行う。要介護認定となり移行された方が3名おられ、今後も機能維持へ努めていく。		営業日	火曜日 水曜日 金曜日								
		営業時間	9:20～15:00								
		休日	土・日曜日 12/29～1/3								
		対象者	要支援1・2の認定を受けられた方								
		利用定員	40人(含む通所介護、生活介護)								
利用実人数(令和4年度実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設日数</th> <th>延べ人数</th> <th>一日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>175日</td> <td>724人</td> <td>4.1人</td> </tr> </tbody> </table>				開設日数	延べ人数	一日平均	175日	724人	4.1人		
開設日数	延べ人数	一日平均									
175日	724人	4.1人									

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
173	指定通所介護事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業												
(事業内容) 要介護1～5の方を対象に、自立支援を基本とし、家族支援を視野に入れサービスを行った。介護報酬改定により科学的介護加算の導入、ADL維持加算にて、運動、訓練の充実を図り、介護エクササイズも開始し、楽しみながら参加できるようにし、機能維持だけでなく、向上した方も多く見られた。コロナ禍の中、毎回の検温や手洗い・消毒など感染予防対策を徹底し、外出行事や交流行事に代わって室内で出来る季節行事の充実を図った。利用者の潜在能力を引き出すべくアプローチをおこない、活気のある時間を過ごしていただく時間を増やした。お一人お一人に寄り添い、最期の時までデイサービスに利用して頂き、断らない介護をもとに、重度の認知症の方も積極的に受け入れ又、延長サービスに代わる夕食弁当の提供を継続することで栄養維持を行うことが出来た。夕食弁当サービス(265)件。関連事業所との連携を図り、利用者獲得をすることができ新規利用者の増加へとつながった。新規利用者32名。感染拡大にて3日間休業をしたことを踏まえて、今後も感染対策を徹底し継続していく。 介護度別利用実人数(令和4年度末実績)1日平均 要介護1～5 24.6人 開設日数306日、延べ回数7525日		営 業 日	月曜日～土曜日												
		営 業 時 間	9:20～16:30												
		休 日	日曜日 12/29～1/3												
		対 象 者	要介護1～5の認定を受けられた方												
		利 用 定 員	40人(含む第1号通所、生活介護)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>301人</td> <td>264人</td> <td>141人</td> <td>26人</td> <td>16人</td> <td>748人</td> </tr> </tbody> </table>		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	301人	264人	141人	26人	16人	748人		
介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計										
301人	264人	141人	26人	16人	748人										
174	基準該当生活介護サービス(ふれあい館)	継続	その他の事業												
(事業内容) 入浴や排泄、食事等の介護や、創作活動、レクリエーションを通して、他者との交流の機会を提供した。自立した生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上の為に必要なリハビリを個別に実施した。年齢が介護保険利用の方に近い方の受け入れを継続してきたが、介護への移行はなく生活介護での利用継続となっている。 (実績)		営 業 日	月曜日～土曜日												
		営 業 時 間	9:30～15:00 9:30～16:30												
		休 日	日曜日 12/29～1/3												
		対 象 者	障害手帳をお持ちの方												
		利 用 定 員	5人以内 (合計40人含む通所介護、第一号通所)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>登録人数</th> <th>年間利用回数</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4人</td> <td>343回</td> <td>304日</td> <td>1.12人</td> </tr> </tbody> </table>		登録人数	年間利用回数	開設日	1日平均	4人	343回	304日	1.12人						
登録人数	年間利用回数	開設日	1日平均												
4人	343回	304日	1.12人												

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	ヘルパーステーション班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定訪問介護、予防訪問介護事業

要介護者を支援する訪問介護では、前年度対比で延べ利用者数が83名、訪問件数19件と増加した結果、売上収入が増額した。支援する要介護者のほとんどの方に認知症状の進行がみられ、昨年同様、身体介護の見守りの援助のサービス内容が増えた。認知症の利用者に対しては、自立支援・重度化防止をケアの基軸としたかわりをする中で、少しでも病状の進行を防ぐことに努めた。要支援者を支援する総合事業利用者は、生活支援が多く掃除支援が中心であった。掃除支援の方法で予想だにしないクレームが数件あり、対応に苦慮した。

(2) 訪問型サービスA事業(市委託事業)

新たなサポーター登録はなかった。現在の登録ヘルパーの中の数名にサポーター登録の協力を得て対応した。要介護認定申請から結果が判明するまでの対応も多く、ヘルパー資格を兼ねたサポーターを増やすことで対応が円滑に進んだ。

(3) 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託事業) 今年度利用実績なし。

(4) 有償ヘルパーサービス事業(介護 独自事業)

介護保険制度上、介護ヘルパーによる支援は不可、また代替のサービスもなく当ヘルパーでなくてはならない利用者に対し62件の支援を実施した。一人暮らしで家族の協力も得ることが少ない利用者が増え、有償サービス利用者もわずかに増えつつある。

(5) 障がい福祉サービス事業(居宅介護等・重度訪問介護・同行援護)

コロナ禍の影響もあったが、身体介護・家事支援等のサービスの提供は、前年度と比べ若干の増加が見られている。入浴サービスの利用や同一利用者の支援回数が増える傾向があり、常勤職員での時差出勤の対応等で支援を行った。重度訪問介護や同行援護のサービス利用は昨年同様の実績で安心した支援提供となった。

(6) 移動支援事業(地域生活支援事業・市委託事業)

延べ利用者数は39名と昨年度より増加している。利用時間も218時間を超え徐々に増加傾向がうかがえる。コロナ禍ではあったが、感染状況をみながら利用者の意向にできる限り応じるよう支援に努めた。少数ではあるが利用者の余暇活動の援助ができ、楽しみにつなげることができた。

(7) 有償ヘルパーサービス事業(障がい 独自事業)

受診時の有償ヘルパーの利用は延べ人数2人で少ない人数であった。主に受診時の利用であり、コロナ禍で受診を控え内服のみの受診が多く、利用に影響したと思われる。

2 業務を推進していく場合の課題

登録ヘルパーの約半数が65歳以上であるため、新たな支援の受入が大変困難な状況にある。特に報酬に大きく影響する身体介護の受け入れが困難である。初任者研修を開催したが、昨年度のヘルパー登録は一人であった。新規依頼も数件あったが、ヘルパー不足で受け入れが出来ず断る事も多々あった。

3 今後の方向性

自立支援と重度化防止のサービス提供を見据え、自主研修会などを通じて各ヘルパーへの指導を行い更なる質の向上に努めていく。介護保険サービスと障がい福祉サービス事業所の組織を一体化し充足した支援に努めていきたい。また、介護サービスをはじめ、諸制度の福祉サービスとの連携を強化推進し在宅生活の継続を支えていくとともに、その要であるヘルパーの確保に努めていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
175-179	訪問介護事業	継続	介護保険事業																												
<p>(事業内容)</p> <p>自宅での生活に支障がある高齢者に対して、訪問介護サービスを提供。要介護認定者、生活機能の衰えを早期に発見する基本チェックリスト該当者が対象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定訪問介護(要介護1から5)、○ 予防訪問介護(要支援1、2) ○ 訪問型サービスA、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託) ○ 有償ホームヘルプサービス事業(独自サービス) <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績数</th> <th>サービス別</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>訪問件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護保険</td> <td>介護</td> <td>628</td> <td>5,254</td> </tr> <tr> <td>予防(総合)</td> <td>698</td> <td>4,036</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市委託事業</td> <td>訪問型サービスA</td> <td>210</td> <td>793</td> </tr> <tr> <td>やすらぎ</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>24</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,560</td> <td>10,145</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新規利用者数)</p> <p>○新規利用者 41人、○中止 21人</p>		実績数	サービス別	延べ利用者数(人)	訪問件数(件)	介護保険	介護	628	5,254	予防(総合)	698	4,036	市委託事業	訪問型サービスA	210	793	やすらぎ	0	0	独自事業	有償ヘルパー	24	62		合計	1,560	10,145	営業日	月曜日～土曜日		
実績数	サービス別	延べ利用者数(人)	訪問件数(件)																												
介護保険	介護	628	5,254																												
	予防(総合)	698	4,036																												
市委託事業	訪問型サービスA	210	793																												
	やすらぎ	0	0																												
独自事業	有償ヘルパー	24	62																												
	合計	1,560	10,145																												
		営業時間	8:30～17:30 他、必要に応じ対応																												
		休日	日曜日 12/29～1/3																												
		対象者	介護やその予防が必要な高齢者																												
		利用定員	120名程度																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
180-183	障がい者(児)訪問支援事業	継続	障がい者(児)訪問事業																												
<p>(事業内容)</p> <p>心身に障害を持った方や重度の肢体不自由、知的障害があり、常に介護を必要とする方に対して、家事援助や身体介護、重度訪問介護・同行援護・移動支援事業(市委託)・有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等の訪問サービスを提供。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>サービス別</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>総利用時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護等</td> <td>身体介護・家事援助</td> <td>577</td> <td>7,278</td> </tr> <tr> <td>重度訪問介護</td> <td></td> <td>36</td> <td>777.95</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td></td> <td>15</td> <td>72.7</td> </tr> <tr> <td>委託事業</td> <td>移動支援</td> <td>39</td> <td>218.73</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>669</td> <td>8349.38</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新規利用者数)</p> <p>○新規利用者 10人、○中止 1人</p>		項目	サービス別	延べ利用者数(人)	総利用時間数	居宅介護等	身体介護・家事援助	577	7,278	重度訪問介護		36	777.95	同行援護		15	72.7	委託事業	移動支援	39	218.73	独自事業	有償ヘルパー	2	2		合計	669	8349.38	営業日	月曜日～土曜日
項目	サービス別	延べ利用者数(人)	総利用時間数																												
居宅介護等	身体介護・家事援助	577	7,278																												
重度訪問介護		36	777.95																												
同行援護		15	72.7																												
委託事業	移動支援	39	218.73																												
独自事業	有償ヘルパー	2	2																												
	合計	669	8349.38																												
		営業時間	8:30～17:30 必要に応じ対応																												
		休日	日曜日 12/29～1/3																												
		対象者	障がい手帳所持者(児)																												
		利用定員	60名程度																												

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
介護支援相談センター	ケアプランセンター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定居宅介護支援事業(介護保険事業)

加齢や疾病による心身機能の低下により、不安定な生活を送る方々に対し、指定居宅サービス等の紹介を行ない、また、生活困窮の方に対し、安心サポート合志や地域包括支援センターと連携し、出来るかぎり安全で安定した生活が送れるように、一人ひとりの思いに寄り添いながら支援を行なった。

総合事業においては、インフォーマルサービス等の情報収集と導入に努め、利用者の有する能力を最大限に生かせるケアプランを作成し、他機関多職種との連携に努めたことで、安定した生活環境の確保ができ、要介護から要支援へ状態が軽快された方もいた。また、新型コロナウイルスの影響で外部研修が軒並みオンライン実施となるなか、他の事業所と共同で事例検討会を企画、利用者の生活の質の向上を図ることができた。

(2) 福祉支援センター事業

当事業所は当会独自事業である福祉支援センター事業(介護相談・福祉用具貸出など。)も兼務しており、合志市の一般市民の方々からの相談等に迅速に対応し、介護保険事業に留まることなく福祉相談の場としても機能しながら適切な支援へスムーズに繋ぐことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 福祉業界の人材不足により、利用者の意向に対応できない状況が度々みられるようになっている。施設環境は整うが人材不足により閉所、休業、合併を余儀なくされる事業所もみられ、受け入れ先を探すことに苦慮する状況も続いている。

(2) 合志市は新興住宅地が多く、その住宅地の高齢者人口が増加傾向である。今後も、必要とされるインフォーマルサービスに対し、地域の若い力が必要となってくるため、これまで以上に若年世代との連携が重要となる。

(3) 地域福祉に力を入れている社協が運営するケアプランセンターであるため、住民の方からの直接の依頼や民生委員からの依頼、課題を抱えた方の依頼を包括支援センターから受けることが多い。地域の方の安心な生活環境を確保するために地域の方々との連携を強化し続ける必要がある。

(4) 社会福祉協議会は単なる経営事業としてではなく、地域福祉の視点に立った事業所の運営が求められている。災害時の支援方法についても更に検討して行く必要がある。

(5) 資格取得者の確保が困難となっているため、社内においても資格取得への意欲が高まるような発信に心掛ける。

3 今後の方向性

(1) インフォーマルサービスを含む地域の社会資源について、利用者へ情報提供を適宜行なうことで社協のケアプランセンター(地域福祉を目的とした介護事業)の特色を発揮続けられるように努める。

(2) 利用者の意欲、能力を十分活用し、自立支援に向けたケアプランの内容充実を図り続ける。

(3) 地域包括ケアの一員として行政や地域包括支援センター、各種団体(民児協等)との連携強化を図り、併せて社内他課と連携、協働しながら総合的な支援を提供し続けていく。

(4) 支援が困難な事例に対しては、安心サポート合志や地域包括支援センター等と連携、粘り強い対応を行なっていくことで利用者の生活の質の向上を図り続ける。

(5) 合志市全域をスムーズに支援できる体制作り(拠点整備等)の検討を行う。

(6) ICT化により、業務の改善(スピーディーな対応、負担軽減等)に努める。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
184	指定居宅介護支援事業	継続	介護保険事業																
185	介護予防、介護予防ケアマネジメント事業																		
(事業の内容) 在宅で利用が可能な指定居宅サービスの紹介やインフォーマルサービス等の調整、ケアプランの作成、サービス利用に係る費用の計算・請求等を利用者に代わり行った。		営業日	月曜日から金曜日																
(実績)		営業時間	8:30～17:30																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援専門員常勤換算数</td> <td>4.5名</td> </tr> <tr> <td>要介護利用者数(年間)</td> <td>1,735名</td> </tr> <tr> <td>要支援利用者数(年間)</td> <td>220名</td> </tr> <tr> <td>月平均利用者数</td> <td>163名</td> </tr> <tr> <td>月平均担当者数(要介護)</td> <td>32.1名/CM</td> </tr> <tr> <td>月平均担当者数(要支援)1/2換算</td> <td>2.0名/CM</td> </tr> <tr> <td>月平均合計担当者数</td> <td>34.1名/CM</td> </tr> </tbody> </table>		項目	人数	介護支援専門員常勤換算数	4.5名	要介護利用者数(年間)	1,735名	要支援利用者数(年間)	220名	月平均利用者数	163名	月平均担当者数(要介護)	32.1名/CM	月平均担当者数(要支援)1/2換算	2.0名/CM	月平均合計担当者数	34.1名/CM	休日	土・日・祝日、 12/29～1/3
項目	人数																		
介護支援専門員常勤換算数	4.5名																		
要介護利用者数(年間)	1,735名																		
要支援利用者数(年間)	220名																		
月平均利用者数	163名																		
月平均担当者数(要介護)	32.1名/CM																		
月平均担当者数(要支援)1/2換算	2.0名/CM																		
月平均合計担当者数	34.1名/CM																		
		対象者	要介護・要支援認定者																
		月担当上限数	35人/CM																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
186	介護認定訪問調査事業	継続	合志市受託事業																
(事業の内容) 合志市からの委託により、要支援認定者更新時の訪問調査を実施。		営業日	月曜日から日曜日																
(実績)		営業時間	8:30～17:30																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table>		実施月	件数	8月	3件	9月	3件	10月	3件	2月	3件	3月	4件	合計	16件	休日	12/29～1/3		
実施月	件数																		
8月	3件																		
9月	3件																		
10月	3件																		
2月	3件																		
3月	4件																		
合計	16件																		
		対象者	合志市民																
※合志市から依頼が入り次第随時対応するため不定期に実施																			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
187	介護保険代行申請事業	継続	独自事業																					
相談実績		営業日	月曜日から金曜日																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>来館及び訪問</th> <th>電話相談</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21件</td> <td>91件</td> <td>112件</td> </tr> </tbody> </table>		来館及び訪問	電話相談	計	21件	91件	112件	営業時間	8:30～17:30															
来館及び訪問	電話相談	計																						
21件	91件	112件																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談区分</th> <th>内訳</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">居宅介護支援</td> <td>居宅依頼</td> <td>67件</td> </tr> <tr> <td>介護保険申請代行</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>福祉用具について</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡調整活動</td> <td>他事業所の紹介</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>包括への情報提供</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>112件</td> </tr> </tbody> </table>		相談区分	内訳	件数	居宅介護支援	居宅依頼	67件	介護保険申請代行	2件	福祉用具について	19件	連絡調整活動	他事業所の紹介	10件	包括への情報提供	12件	その他		2件	合計		112件	休日	土・日・祝日、12/29～1/3
相談区分	内訳	件数																						
居宅介護支援	居宅依頼	67件																						
	介護保険申請代行	2件																						
	福祉用具について	19件																						
連絡調整活動	他事業所の紹介	10件																						
	包括への情報提供	12件																						
その他		2件																						
合計		112件																						
		対象者	合志市民																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
188	福祉用具貸出事業	継続	独自事業																					
福祉用具貸出実績		貸出期間	原則2週間																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>用具数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いす(介助用)</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>車いす(自走用)</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>トイレ用具(ポータブルトイレ)</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>入浴用具(浴槽台、シャワーイス)</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>歩行器</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>杖、松葉杖</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>ほか(スロープ等)</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>155件</td> </tr> </tbody> </table>		項目	用具数	車いす(介助用)	64件	車いす(自走用)	55件	トイレ用具(ポータブルトイレ)	16件	入浴用具(浴槽台、シャワーイス)	18件	歩行器	0件	杖、松葉杖	1件	ほか(スロープ等)	1件	合計	155件	貸出件数	155件			
項目	用具数																							
車いす(介助用)	64件																							
車いす(自走用)	55件																							
トイレ用具(ポータブルトイレ)	16件																							
入浴用具(浴槽台、シャワーイス)	18件																							
歩行器	0件																							
杖、松葉杖	1件																							
ほか(スロープ等)	1件																							
合計	155件																							
		その他	他法優先																					
<p>※介護保険等のサービスに該当する場合等は原則貸出不可。ただし認定申請中でサービスをすぐに利用することができない等の特別な事情がある場合は貸出を行なっている。</p>																								

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
介護支援相談センター	サブセンターふれあい館

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントと実施とその指導

利用者が可能な限り自らの意志に基づき、機能の低下予防と機能の維持向上に向け、その有する能力に応じた質の高い生活が送れるように支援調整を行った。

また、地域の介護支援専門員に対し、ケアプランの確認を行いながら、目標設定とその達成のために指導を行い、その人らしい生活が送れるように支援した。

(2) 包括的支援・総合相談

独居や高齢者世帯、障がいを持つ方や子育て世代との同居など、さまざまな形態の中で様々な課題を持ち生活する方へ、できる限り安心した生活が送れるよう寄り添い支援した。

(3) 権利擁護業務(成年後見・虐待・消費者被害)

日常生活の中で身上管理や金銭管理などの必要性を確認し、成年後見制度活用に繋げた。また、虐待者・被虐待者の双方に対して、生活の基盤を整え、生活支援介入し安心・安全な生活環境を確保した。

消費者課題に関しては、発見し次第、地域等に周知し被害拡大予防に努めた。

(4) 地域ケア会議

包括支援センター主催する、定期、随時開催の会議へ参加し、各専門職からの意見を取りまとめ、個人、及び地域課題の解決に努めた。

(5) サービス判定会議

合志市の高齢者福祉事業サービスの申請者に対し、必要性を審査する会議へ参加し、専門職としての意見を述べた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 要介護認定を受けた方への居宅支援事業所紹介において、個々の個性に応じ事業所選定を行いたいが、人材不足等で対応を断られる事業所が増えている。

(2) 福祉の担い手不足に伴い、地域資源(インフォーマルサービス)の充実が必要である。

3 今後の方向性

(1) 利用者の意欲、能力を十分活用し、自立支援に向けた介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの内容充実を図る。

(2) 地域包括ケアチームの一員として行政や地域の各団体(民児協等)との連携強化を図り、協働しながら総合的な支援を提供していく。

(3) 大きな課題を抱えた事例に対しては、地域包括支援センター、安心サポート合志等と連携を強化し利用者の生活の質の向上を図る。

(4) ICTの活用により、早急な課題解決や業務の負担軽減を図る。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																
16	合志市地域包括支援センターへの専門職員の出向	継続	合志市受託事業																																
<p>地域で暮らす高齢者の方に対し、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支える窓口である、地域包括支援センターへ3名の職員を出向。地域住民や各事業所等と連携し、地域課題解決に向け対応している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主任介護支援専門員</th> <th>社会福祉士</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>		主任介護支援専門員	社会福祉士	合計	1名	2名	3名	実施日時	月～金 8:30～17:15																										
		主任介護支援専門員	社会福祉士	合計																															
		1名	2名	3名																															
		職員数	3名																																
派遣先	地域包括センター																																		
		事業費	15,106千円																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																
104	地域包括支援センターサブセンター	継続	合志市受託事業																																
<p>サブセンターふれあい館開所し2年経過。主に旧西合志市地区の方の相談窓口となっている。 新型コロナウイルス感染症による影響から、身心機能低下や生活困窮に伴う相談件数の増加。及び、社会的に複雑化、複合化した課題を持つケース対応が増えている。 身心機能の低下予防と安定した生活に向けた支援に心掛けている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主任介護支援専門員</th> <th>社会福祉士</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		主任介護支援専門員	社会福祉士	合計	1名	1名	2名	実施日時	月～金 8:30～17:15																										
		主任介護支援専門員	社会福祉士	合計																															
		1名	1名	2名																															
		職員数	2名																																
対象者	高齢者 2号被保険者																																		
		事業費	11,433千円																																
<p>【年間相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>電話</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上半期(件)</td> <td>693</td> <td>145</td> <td>1,069</td> </tr> <tr> <td>下半期(件)</td> <td>757</td> <td>126</td> <td>1,373</td> </tr> </tbody> </table> <p>開所し2年経過する事もあり、高齢者虐待ケースや生活困窮者、地域から孤立しているケースの対応が増えた。</p> <p>【事業種別月平均件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">総合事業</th> <th colspan="2">介護保険</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>通所A</th> <th>通所C</th> <th>訪問A</th> <th>訪問C</th> <th>要支援1</th> <th>要支援2</th> <th rowspan="2">70</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症拡大から3年経過した。身心機能低下をきたし、また、その不安に対し、総合事業の支援や介護保険新規申請を希望する方が増えた。</p>					訪問	来所	電話	上半期(件)	693	145	1,069	下半期(件)	757	126	1,373	総合事業				介護保険		合計	通所A	通所C	訪問A	訪問C	要支援1	要支援2	70	15	6	6	1	17	25
	訪問	来所	電話																																
上半期(件)	693	145	1,069																																
下半期(件)	757	126	1,373																																
総合事業				介護保険		合計																													
通所A	通所C	訪問A	訪問C	要支援1	要支援2	70																													
15	6	6	1	17	25																														

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
障がい者支援センター	児童発達支援班

<p>1 本年度に取り組んだ業務の主な成果</p> <p>児童発達支援(定員10名)</p> <p>(1) 療育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10名定員の小集団を利用児の年齢、発達段階等により3つのグループに分け、それぞれの年齢、特性に配慮し構造化した環境設定を行うことができた。 ・ 今年度も新型コロナ陽性者の発生に伴い、拡大防止の観点から4月は事業所閉所(10日間)を行った。なお、電話等により児童の状況を確認、相談援助を行い利用再開時の支援にも繋げていった。 ・ 活動に関しては、個別支援計画に基づき、小集団を生かした活動や利用児が楽しみながらそれぞれの個別課題が達成できるように考慮し丁寧な支援に取り組んだ。 ・ 午後の枠で、個別活動として年長児を中心に就学に向けた活動に取り組んだ。集団と個別の両方からアプローチでき、就学にむけて、子どもたちの自信に繋げていった。 <p>(2) 家庭、保護者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就学に向けたサポートとして、年中児保護者対象に、療育相談員による「どんな準備をすればいいか」就学に向けての進め方等の話を聞く場を設けた。また、独自の「就学サポートシート」を作成し、事業所での様子を詳しく記載、安心して就学できるように、移行支援を行った。 ・ 今年度もコロナ禍で保護者会の開催ができていく状況であったが、療育参観、懇談会、保護者会を通して、保護者同士顔見知りになる場、子どもや療育を知る場、保護者の学習の場として、家族支援を行った。 ・ 保護者面談、親子れんがを通して、子ども、保護者との関りを支援者も確認することで、療育の質の向上にも繋げていった。 <p>(3) 地域とのつながり、社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に引き続き、「障がい者芸術展」「れんがのなかまたち展」、今年度は「サクラマチサンクンガーデン」に出展し、芸術に触れ感性を育む活動に取り組んだ。また展示する機会を設け、地域社会で利用児ひとりひとりが輝ける場とした。
<p>2 業務を推進していく場合の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有資格者の人員配置を行う事が、より質の高い療育の提供、配置加算要件を満たしていくことになり、またこのことで職員の意識向上にもつながっていく為、安定した人材確保は必要である。
<p>3 今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に親子れんが、保護者会、療育参観、保護者面談等を行い家族支援の充実を図る。 ・ 家庭、園、保育園に出向き支援を展開する事で、家庭、保育との連携、質の高い療育へ繋げていく。 ・ 療育への専門性向上の為、ミーティング、外部研修の充実を図る事で、職員の意識向上にも繋げていく。 ・ こどもから大人まで受け入れができる障がい者支援センターとして、未就学児からの医療的ケア児、重心児の受け入れができるように、療育体制を整備していく。 ・ 業務の効率化を図るために、ICT化を整備していく。(SNS活用、アプリ導入連絡張等のペーパーレス化等)

番号	事業の名称	継続	事業形態																												
215	児童発達支援事業1	継続	児童福祉法																												
<p>(事業内容)</p> <p>発達に心配のある児童や障がいを持った児童が、身近な場所で年齢に応じた丁寧な支援を受けられるよう、個別支援計画に基づき、様々な領域の遊びや基本的な生活習慣の指導を取り入れ、児童の発育を促しながら実施した。活動形態を午前の小集団、午後の個別活動は主に年長児を対象にし就学に向けた療育に取り組んだ。さらに午前の小集団を年長・年中児と、年少・未満児のぐる一ぶに分けより発達に応じた活動を行った。また、保護者会や面談等に取り組み、療育活動内容を保護者に知っていただくとともに、関わり方や今後の進路等の相談など、家庭支援にも力を注いだ。季節毎の外出行事(新型コロナウイルス感染症予防のため数回実施)、買い物体験、地域交流は感染予防に配慮しながらできる範囲で取り組んだ。</p> <p>また、今年度も、「障がい者芸術展」、お菓子の香梅光の森店で開催した「れんがのなかまたち展」にも出展、また新たにサクラマチの「サンクンガーデン」に展示する機会を設け、芸術に触れ感性を育むとともに、地域社会への啓発も行った。</p>		営業日	月～土 但し土曜日は 第1.3閉所(月 により変動)																												
		営業時間	8:30～17:30																												
		休日	日、祝日 12/29～1/3																												
		対象者	未就学の障 がい児																												
		利用定員	10名																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
215	児童発達支援事業2	継続	児童福祉法																												
<p>(年間実績者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>延べ利用者数</th> <th>開所日数</th> <th>平均利用者数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,960人</td> <td>253日</td> <td>7.7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(登録者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">障がい 種別</th> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>発達</th> <th>無診断</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢別</th> <th>未満児</th> <th>年少</th> <th>年中</th> <th>年長</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新規契約数:13人</p>		延べ利用者数	開所日数	平均利用者数(日)	1,960人	253日	7.7人	障がい 種別	身体	知的	発達	無診断	計	0	3	11	18	32人	年齢別	未満児	年少	年中	年長	計	5	4	15	8	32人		
延べ利用者数	開所日数	平均利用者数(日)																													
1,960人	253日	7.7人																													
障がい 種別	身体	知的	発達	無診断	計																										
	0	3	11	18	32人																										
年齢別	未満児	年少	年中	年長	計																										
	5	4	15	8	32人																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
215	児童発達支援事業3	継続	児童福祉法																												
<p>(見学・会議等連携)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保護者見学</th> <th>23件</th> <th>保育所、他事業所 から</th> <th>0件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園、保育所へ</td> <td>0件</td> <td>事業所内相談</td> <td>79件</td> </tr> <tr> <td>関係機関連携</td> <td>4件</td> <td>個別支援会議</td> <td>各児年に2回実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>*コロナ禍において、園、他事業所等の見学は自粛傾向であった。</p> <p>① 5、6月「保護者面談・事業説明会」 ② 7月「療育参観・懇談会」(年長児・保護者) ③ 9月「親子れんが」 ④ 10、11月「療育参観・懇談会」(年長児以外) ⑤ 1月「れんがのなかまたち展:作品鑑賞・ミニコンサート」 ⑥ 2月「年長児保護者会&療育活動」 ⑦ 3月「就学に向けて」菊池圏域地域療育センター「ゆうず」療育相談員講話(年中児保護者対象)</p> <p>【外部講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士による口腔チェック、指導(2ヶ月に1回)、 ・元支援学校教諭(1ヶ月に1～2回) <p>【地域住民のボランティア協力行事及び地域交流行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育(芋ほり、畑活動)、クリスマス会、ハロウィン、音楽演奏 		保護者見学	23件	保育所、他事業所 から	0件	幼稚園、保育所へ	0件	事業所内相談	79件	関係機関連携	4件	個別支援会議	各児年に2回実施																		
保護者見学	23件	保育所、他事業所 から	0件																												
幼稚園、保育所へ	0件	事業所内相談	79件																												
関係機関連携	4件	個別支援会議	各児年に2回実施																												

番号	事業の名称	継続	事業形態
199～204	合志市地域活動支援センター	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>合志市委託事業として障がいをお持ちの方々の余暇活動及び相談支援を実施した。利用者間の関係づくりや相談援助なども細かに対応し、創作・生産活動を通して共同活動を行う事によりコミュニケーションを図った。生産活動の完成品は市内のユーパレス弁天・カントリーパークの物産、クロイシガーデン、黒石団地フリーマーケット等で展示販売した。</p> <p>「障がい者芸術展」、お菓子の香梅光の森店で開催した「れんがのなかまたち展」にも出展者を募り、意欲向上に繋げた。</p> <p>(年間利用者数)</p> <p>・延利用者数:862人・登録者数:79人(地域別:合志市71人、菊池市6人、菊陽町0人、大津町0人、熊本市2人、他0人)</p> <p>(活動実績)</p> <p>・創作活動:157件、生産活動:91件、相談援助:9件、他:24件、 手話:44回(376人)、陶芸:46回(285人)、行事:4回(18人)、クロイシガーデン販売会5回、黒石団地フリーマーケット1回</p>		営業日	火・水・金・土
		営業時間	9:00～16:00
		対象者	障がい者 菊池圏域住民



生活介護の皆さんと地域交流「ハロウィン」

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
障がい者支援センター	障がい相談支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 相談支援事業

- ・ 特定事業所としては、相談員配置、専門的体制加算にも充当できるよう専門性を高める研修の受講も進め、こどもから大人まで、多種多様な新規相談の受け入れを増やす事ができた。
- ・ 相談支援体制の強化、地域づくりの推進役、相談員への助言、指導の役割を担う、主任相談支援専門員の追加配置を行った。
- ・ 安心サポート合志の障害者相談支援事業に、専任の相談員の配置をされたことで、より一層連携がとりやすくなり、計画相談も含めて、包括的な相談支援を行う事ができた。

(2) 地域活動支援センター

- ・ 市内外の関係機関からの新規相談を随時行う事ができた。医療、事業所との連携を図る事での相談援助ができ、計画相談の必要になった方は、相談支援事業所との連携も図る事ができた。
- ・ 地域のボランティアの力を借り、制作活動の提案もいただき、利用者との交流にも繋げた。
- ・ 弁天、カントリーパークへの出店販売を継続し、新たにクロイシガーデンでは利用者販売参加型、近隣住民の声かけによるフリーマーケットへ出店する事もでき、利用者の意欲向上に繋げた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 相談支援事業

- ・ 今年度もコロナ禍の中、自立支援協議会の開催、それぞれの部会の開催も難しい状況であった。やはり、コロナ禍における当事者、その家族が抱える課題も複雑、多様化している。個別の課題から地域の課題への認識、発展を目指すためにも、関係機関との協議も含めて、相談事業所としての受け皿のあり方を考えていく必要がある。

(2) 地域活動支援センター

- ・ コロナ禍の中、限られたスペースで、他事業との環境調整も必要である。障がい特性に応じて寄り添った支援を行う上では、環境づくり(職員配置、環境面)は今後も必要である。

3 今後の方向性

(1) 相談支援

- ・ 社協の持つ他の相談機関(生活相談・介護・高齢福祉・地域・子ども等)とも連携を図り、きめ細やかな相談支援、横断的な取り組みを行う事で、地域共生社会(すべての人々が安心して地域で暮らす)を目標としていく。
- ・ 専門性を高める為の研修(法定・専門コース)への参加、資格習得に向けてもバックアップすることで、相談員の意識向上にも繋げていく。また法人としても、将来を見据えた人材育成に努めていく事で、継続的に安心して相談できる事業所を目指していく。
- ・ 他の相談支援事業所との連携、協働を図り、相談事業所間でも地域づくりを行う事で、地域課題における問題解決に努めていく。

(2) 地域活動支援センター

- ・ 社会福祉協議会の特性である地域との関りが強い事を生かし、障がいのある方、ない方が気軽に利用、また地域との交流ができる場を提供していく。

番号	事業の名称	継続	事業形態																			
206	合志市相談支援事業1(「れんがの家」のみ)	継続	合志市受託事業																			
<p>(事業内容)</p> <p>障がい者(児)・そのご家族等の相談に応じ、福祉サービスの紹介や、相談支援を行った。社協での相談支援事業所であることから、他県から転居予定の方、市民、市民以外、サービス事業所、保育園、幼稚園、学校(支援学校)からの相談や、医療機関等も含めて相談対応を行った。複雑な課題を抱えるケースにも、社協内、関係機関で必要な情報共有し、課題の解きほぐしを行なった。今年度も、菊池圏域自立支援協議会員として各部会への参加、サービス部会活動等は、新型コロナウイルス感染予防の為、一部Zoomの開催もあったが、自粛傾向は続いていた。</p> <p>R4年度一般相談件数:956件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援方法</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>同行</th> <th>電話</th> <th>メール</th> <th>会議</th> <th>調整</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>121</td> <td>101</td> <td>53</td> <td>495</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>127</td> <td>14</td> <td>956</td> </tr> </tbody> </table>		支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計		121	101	53	495	21	24	127	14	956	<p>営業日</p> <p>月～土</p> <p>営業時間</p> <p>8:30～17:15</p> <p>休日 日、祝日</p> <p>12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)</p> <p>対象者</p> <p>合志市住民他</p>
支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計													
	121	101	53	495	21	24	127	14	956													
206	合志市相談支援事業2(「れんがの家」のみ)	継続	合志市受託事業																			
<p>(年間相談支援内容)</p> <p>支援内容別年間件数。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>① 福祉サービス調整 486件</td> <td>⑦ 家計・経済 13件</td> </tr> <tr> <td>② 障がい・病気の理解 31件</td> <td>⑧ 生活技術 32件</td> </tr> <tr> <td>③ 健康医療 51件</td> <td>⑨ 就労 27件</td> </tr> <tr> <td>④ 不安・情緒安定 181件</td> <td>⑩ 社会参加余暇活動 3件</td> </tr> <tr> <td>⑤ 保育・教育 31件</td> <td>⑪ 権利擁護 11件</td> </tr> <tr> <td>⑥ 家族・人間関係 37件</td> <td>⑫ その他 60件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1件の相談において複数の内容があり、支援方法と支援内容の件数に誤差が生じる</p>		① 福祉サービス調整 486件	⑦ 家計・経済 13件	② 障がい・病気の理解 31件	⑧ 生活技術 32件	③ 健康医療 51件	⑨ 就労 27件	④ 不安・情緒安定 181件	⑩ 社会参加余暇活動 3件	⑤ 保育・教育 31件	⑪ 権利擁護 11件	⑥ 家族・人間関係 37件	⑫ その他 60件	<p>営業日</p> <p>月～土</p> <p>営業時間</p> <p>8:30～17:15</p> <p>休日 日、祝日</p> <p>12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)</p> <p>対象者</p> <p>合志市住民他</p>								
① 福祉サービス調整 486件	⑦ 家計・経済 13件																					
② 障がい・病気の理解 31件	⑧ 生活技術 32件																					
③ 健康医療 51件	⑨ 就労 27件																					
④ 不安・情緒安定 181件	⑩ 社会参加余暇活動 3件																					
⑤ 保育・教育 31件	⑪ 権利擁護 11件																					
⑥ 家族・人間関係 37件	⑫ その他 60件																					
208	指定特定相談支援事業	継続	障がい者総合支援法																			
<p>(事業内容)</p> <p>障がい者の方が自立した生活に向けて適切にニーズに合った福祉サービスを利用できるよう、相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。今年度も、コロナの状況に応じ、利用者に配慮し、感染対策を十分行った上での環境調整、リモート会議を行った。</p> <p>R4年度年間実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>計画相談契約者総数</td> <td>227件</td> </tr> <tr> <td>サービス利用計画総数</td> <td>198件</td> </tr> <tr> <td>モニタリング報告総数</td> <td>404件</td> </tr> </tbody> </table>		計画相談契約者総数	227件	サービス利用計画総数	198件	モニタリング報告総数	404件	<p>営業日</p> <p>月～金</p> <p>営業時間</p> <p>8:30～17:15</p> <p>休日</p> <p>日、祝日 12/29～1/3</p> <p>対象者</p> <p>障がい者</p>														
計画相談契約者総数	227件																					
サービス利用計画総数	198件																					
モニタリング報告総数	404件																					

番号	事業の名称	継続	事業形態						
209	指定障がい児相談支援事業	継続	障がい者総合支援法 児童福祉法						
(事業内容) 障がいのある児童が適切にニーズに合った福祉サービスの利用ができるよう保護者の相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。今年度も、コロナの状況に応じ、利用者に配慮し、感染対策を十分行った上での環境調整、リモート会議を行った。 R4年度年間実績 <table border="1" data-bbox="204 521 887 685"> <tr> <td>計画相談契約者総数</td> <td>373件</td> </tr> <tr> <td>サービス利用計画総数</td> <td>457件</td> </tr> <tr> <td>モニタリング報告総数</td> <td>659件</td> </tr> </table>		計画相談契約者総数	373件	サービス利用計画総数	457件	モニタリング報告総数	659件	営業日	月～金
		計画相談契約者総数	373件						
		サービス利用計画総数	457件						
		モニタリング報告総数	659件						
		営業時間	8:30～17:15						
休日	日、祝日 12/29～1/3								
対象者	障がい児								

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
スペースれんが課	放課後等デイサービス班 生活介護班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【スペースれんが 放課後等デイサービス(重心児5名、重心児外10名)の取り組み】

従来の「運動・音楽・制作・食育・園芸」のほか、ボランティアや放課後児童クラブとの交流や外出行事、またストリートダンスや歯科教室といった外部講師によるプログラムなど、感染予防策を講じながら多彩な活動プログラムの提供を実施した。特筆すべき点として、今年度はパラスポーツの推進に取り組み、事業所でのボッチャの活用や車いすふれあいジョギングへの参加など、子どもたちがスポーツを楽しむ機会づくりを行った。また、子どもたちのイラストを封筒やLINEスタンプに活用するなど、それぞれの個性や興味関心を強みとした自信や意欲の向上につながる取り組みを行った。

(1) 発達支援 支援の充実化を目的に個別支援計画に基づく支援前の準備やミーティングを強化し、PDCAサイクルの視点に依拠した支援体制の構築に取り組んだ。また、新たに視覚障がい児への歩行訓練士による巡回指導の導入や医療機関とのオンライン会議における情報交換を実施し、より専門性の高い支援を行うための基盤づくりを行った。

(2) 保護者支援 公式LINEアカウントによる保護者との連絡体制が確立され、事業所との連絡調整がスムーズになったと保護者より好評を得ている。また、今年度は肢体不自由児を対象に約3年ぶりとなる保護者会を実施し、「先輩ママの体験談」を通しながら在宅生活の将来像を考える機会を提供した。

(3) 地域支援 昨年度に引き続き、コロナ禍による直接交流の機会制約はあったものの、地域住民やボランティアの方へのメッセージカード配布やれんがのなかまたち展への招待など、間接的な地域交流を行った。また、学校や相談支援事業所等との他機関連携を継続し、これらの2つの視点における地域づくりに取り組んだ。

(4) 経営管理 新型コロナ感染拡大により3日間の事業所閉鎖を行った。家庭や学校における子どもの感染拡大によって、利用数は昨年度と比較して減少したものの、臨時的支援実施や諸加算算定により、目標値を概ね達成できた。

【日中一時支援の取り組み】

日中一時支援のニーズは減少傾向にあるが、必要に応じた利用調整のもと、日中活動の機会の提供や家族のレスパイトケアを継続した。今年度は利用数・収益ともに減少した。

【スペースれんが:生活介護の取り組み】

「地域の中で自分らしく生き生きと」と事業理念を掲げ、コロナ禍にあり活動等の制限がある中、生産活動に加え、身体機能の維持向上を目的とした運動の提供、不安や悩みを抱える利用者や家族へ寄り添いながら関係機関と連携し支援を行った。また、Eスポーツの紹介を通して新たなアクティビティに参加し、利用者同士楽しみながら取り組んだ。

(1) 生産活動や余暇活動、社会貢献活動(地域のゴミ集め・資源ごみの回収など)に加え、毎月のテーマに沿ったマイカレンダー作りなど、メンバーでテーマを考え取り組み、意欲的に活動に参加するプログラム作りを行った。

(2) かねてから要望のあった、ケアニーズの高い重症心身障がい者の受け入れを開始した。

(3) 経営面においては、コロナの影響で利用自粛や閉所(3日間)また入院、利用中断の利用者があり利用者数、収益ともに減少した。

【全体】

(1) 良質で適切なサービスの提供を目的に第三者評価を受審した。新型コロナ感染拡大の影響で年度をまたいだものの事業全体の見直しを行うことができ、評価を通して新たな課題や今後の指針が明確となった(公表中)。

(2) 権利擁護(虐待防止・身体拘束)、感染管理、安全管理、災害時対策といった各れんが委員会、また事業における療育環境、安全管理、美化感染、給食といった各チームの活動を継続し、今後の指針策定や業務改善に取り組んだ。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 職員の専門性向上を目的とした研修体制や勉強会の実施、福祉実践を土台とした育ちあう職員集団づくり。

(2) ICT化やSDGsを意識した職場づくり(SNSの活用、ペーパーレス化など)

3 今後の方向性

(1) 将来的な障がい者支援センターの施設整備計画に基づき事業運営を計画的に行う

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
216	放課後等デイサービス(重症心身障害児外)	継続	児童福祉法										
(事業内容) スペースアレンがにおいて、障がいのある学齢期の子どもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し、利用児の健全育成を図ることを目的に実施した。医療的ケア児やサポート児に対する支援のため児童指導員・看護師等の加配を行い支援した。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業)		営業日	月曜日～土曜日										
		営業時間	8:30～17:30										
		休日	日、祝日 12/29～1/3										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人数</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>2653人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>291日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>9.1人</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度		利用実人数	26人	延べ利用者数	2653人	開所日数	291日	平均利用者数(日)	9.1人	対象者	障がい児
令和4年度													
利用実人数	26人												
延べ利用者数	2653人												
開所日数	291日												
平均利用者数(日)	9.1人												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>医療的ケア児</th> <th>個別サポート児</th> <th>個別サポート児外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3人</td> <td>17人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>		医療的ケア児	個別サポート児	個別サポート児外	3人	17人	6人	利用定員	重心児外:10名				
医療的ケア児	個別サポート児	個別サポート児外											
3人	17人	6人											
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
216	放課後等デイサービス(重症心身障害児)	継続	児童福祉法										
(事業内容) スペースアレンがにおいて、重度心身障がいのある学齢期の子どもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し子どもたちの健全育成を図ることを目的に実施した。医療的ケアを必要とする児童に対して看護師の人員配置を整え、より細やかなケアの提供を実施した。また、就労されている保護者への支援としても、午前7:30から午後7時までの預かりを行った。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業(重症心身障害児))		営業日	月曜日～土曜日										
		営業時間	8:30～17:30										
		休日	日、祝日 12/29～1/3										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人数</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1319人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>291日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>4.5人</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度		利用実人数	13人	延べ利用者数	1319人	開所日数	291日	平均利用者数(日)	4.5人	対象者	重度心身障がい児
令和4年度													
利用実人数	13人												
延べ利用者数	1319人												
開所日数	291日												
平均利用者数(日)	4.5人												
		利用定員	5人										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
217	日中一時支援事業	継続	合志市委託事業										
(事業内容) 合志市在住の障がいのある小・中・高校生の日中一時預かりを行った。主に放課後等デイサービス利用児童の保護者の就労等による一時預かりを目的として対応している。 (年間利用者数・利用児童数)		営業日	月曜日～土曜日										
		営業時間	8:30～17:30										
		休日	日、祝日、年末年始、長期休の土曜										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人数</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>291日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数</td> <td>0.5人</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度		利用実人数	6人	延べ利用者数	133人	開所日数	291日	平均利用者数	0.5人	対象者	障害児
令和4年度													
利用実人数	6人												
延べ利用者数	133人												
開所日数	291日												
平均利用者数	0.5人												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>行動援護対象者</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	行動援護対象者	その他	合計	令和4年度	4人	2人	6人	利用定員			
区分	行動援護対象者	その他	合計										
令和4年度	4人	2人	6人										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																						
219	生活介護	継続	障がい者 総合支援法																						
(事業内容) スペースアレンがにおいて、日常生活に必要な援助を要する障がいのある方に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、日常生活上の支援、創作活動、生産活動その他身体機能・生活能力向上のための機会を提供した。生産活動においては「廃ゆせつけん」や小物等を作り、クラッシーノ合志等で委託販売した。生産活動のほか、地域の美化活動やアレンが内の環境整備の役割も担い、SDGSを意識しながら取り組んだ。 (年間実績者数)		営 業 日	月曜日～金曜日																						
		営 業 時 間	8:30～17:30																						
		休 日	土、日、祝日 12/29～1/3																						
		対 象 者	障がい者																						
		利 用 定 員	7 人																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登 録 者 数</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>延 べ 利 用 者 数</td> <td>993人</td> </tr> <tr> <td>開 所 日 数</td> <td>241日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>4.1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(障害区分別利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度		登 録 者 数	11人	延 べ 利 用 者 数	993人	開 所 日 数	241日	平均利用者数(日)	4.1人	区分	3	4	5	6	合計	令和4年度	2人	2人	6人	1人	11人		
令和4年度																									
登 録 者 数	11人																								
延 べ 利 用 者 数	993人																								
開 所 日 数	241日																								
平均利用者数(日)	4.1人																								
区分	3	4	5	6	合計																				
令和4年度	2人	2人	6人	1人	11人																				



【生活介護】季節を感じる制作活動

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
このみ坂保育園	このみ坂保育園

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

- (1) 施設の運営・経営管理について
 児童福祉法及び関係法令を遵守し、社内管理規定や運営方針、経理管理や職員体制(規定の職員配置)等、安定した運営を図ることができた。
- (2) 保育内容について
- ① 本会及び園の基本理念を基盤とした保育方針のもと、保育課程を編成し、年間の指導計画や毎月の指導計画、毎週の週案を立案、日々の保育についての、評価・反省・子どもの個人記録は、担任だけでなく全職員が子どもの育ちの状況を理解し、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育を行った。
 - ② 異年齢編成の保育では、協調性が養われるとともにお互いが思いやりをもって接することの大切さを学ぶ場となった。
 - ③ コロナ禍の中、夏祭りのお神輿披露や運動会など、工夫することにより保護者参加の行事が開催できた。
 - ④ 障がいの有無にかかわらず、様々な背景を持っている子どもが集団生活を楽しく過ごせるような工夫と配慮をし、全職員が見守りに努め、安心して日々過ごすことができるように心掛けた。また、関係機関には相談やケース会議を開催して連携を行った。
 - ⑤ 健康管理(病気)、事故対応(ケガ・病院受診)では、保育看護を担当する看護師を中心に対応を行った。園での事故については、すべて加入している保険で対応した。
 - ⑥ 給食では、栄養士、調理師が中心となり、在園児に対し、農園で収穫した野菜を食材として使うことで子どもの食育活動にも効果があった。
 - ⑦ 地域交流については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、社協内のデイサービスが行う敬老の日に合わせ、ビデオレターによる太鼓の披露や高齢者へのメッセージを送る取り組みを行った。また、年間活動として農園や絵本の読み聞かせを通して異世代とのつながりを強めた。
 - ⑧ 「つどいの広場」は、家庭で子育て中の方の居場所としての役割を担った。保護者同士のつながりからピアカウンセリングが広がるなど、コロナ禍ではあったが多くの利用があり、子育ての負担感の軽減に努めた。
 - ⑨ コロナ禍で休止となっていた中学生の職場体験を3年振りに行うことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) キャリアアップ制度を利用して処遇改善を図り、専門リーダーの育成を行うとともに、その役割を業務の中で遂行する。
- (2) 保育現場の負担軽減に向けた業務改善。
- (3) 保育の質の確保と向上。
- (4) 施設や遊具・備品等の整備を図り、計画的に改修等を行う。

3 今後の方向性

- (1) 環境の変化を踏まえ、子どもの健康管理や安全対策に取り組む。
- (2) コロナ禍を超えての行事の見直しと取り組み。
- (3) 異年齢保育の充実。
- (4) 職員の業務に対する見直しと資質向上。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
220-223	通常保育事業 (異年齢保育・障がい児保育・体力、食育推進)	継続	児童福祉法
(1) 保育理念である「人を思い、人を育て、ヒューマニズムを育む保育園」を基本に、「優しさや思いやり」を育てることを大切にする保育に取り組んだ。社協の保育園としての特色を生かし、異世代交流、地域交流や体験活動などを日常に取り入れた。 入所児童数(定員90名) 園児総数(88~101名) ① 異年齢保育では3・4・5歳児の年齢差がある子どもが、生活や遊びの中で人と関わりながら育ち合う学びがあった。 ② インクルーシブ保育を心掛け、支援や配慮が必要とされる子どもには保護者や関係機関との連携を図りながら対応した。 ③ 体力・食育推進は、保育者だけでなく、外部講師や地域のボランティアと共に活動した。	事業費	117,547千円	
	実施日時	R4年4月1日～ R5年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園	
	対象者 人数	0歳児～5歳児 園児総数101名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
224-227	その他の事業 (延長保育・一時保育・副食費徴収事業)	継続	児童福祉法
(1) 延長保育事業 (月曜日～土曜日 18:01～20:00) 多様な就労形態に対応するため、通常保育を延長して保育を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、19:00までとしていたが感染対策が緩和されると保護者の勤務時間のニーズに合わせて延長保育時間を延長して対応した。 (2) 一時保育(自主事業) 子育て支援である、児童の健全育成、保護者支援等福祉の増進を図ることを目的にした自主事業で行った。 (実施日数12日 延べ利用者12名) (3) 副食費徴収事業 令和元年10月から3・4・5歳児の保育料の無償化に伴い、主食費・副食費については園で徴収しているが、現金徴収から口座振替による徴収方法に変更となったが、スムーズに引落としが行えた。	事業費	3,085千円	
	実施日時	R4年4月1日～ R5年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園	
	対象者 人数	このみ坂保育園児 及び合志市内対象児 延長利用児童56名 利用者総数1,215名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
228-229	地域子育て拠点事業(ひろば型)	継続	合志市受託事業
(つどいの広場:わかば) 地域の子育て支援として、子育て中の親子等が家庭に引きこもることなく、気軽に集える場所の提供を行い、コロナ禍においても子育ての不安や悩みを共有し交流することができた。 (親子交流、ピアカウンセリング、情報の提供、子どもの発達相談、季節のイベント) 開催 月～金曜日 10:00～15:00 利用料 なし (参加状況) ・開催日238日 (行事企画回数36回 参加者556名) ・新規来園者107組 ・利用者 乳幼児1,240名 保護者977名 総数2,217名	事業費	4,250千円	
	実施日時	R4年4月1日～ R5年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園内 専用保育室	
	対象者 人数	家庭内保育を行っている親子 参加総数2,217名	

令和4年度 事業報告書

担 当 課	班
生活支援相談センター	生活支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

- (1) 地域福祉権利擁護事業(県社協受託事業)、法人後見事業(独自事業)
 - ・ 地域福祉権利擁護事業(地権)は、複合的な生活課題のある方の相談増により、支援も複雑化している。
 - ・ 地権から成年後見制度へ移行は、法人後見運営委員会(専門職・健康福祉部長等)で適切に行った。法人後見受任者3名(後見類型1名・保佐類型2名)の支援は、専門職及び家庭裁判所の助言を受け実施した。
- (2) 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)
 - ・ 新型コロナウイルスの影響により、住居確保給付金や総合支援資金貸付、自立支援金の相談は、影響前に比べて増加し、債務整理や就労相談等で、解決に向けて長期化している。
 - ・ プラン策定した相談者に生活向上の変化がみられ、就労プランを策定した28名中70%(一般就労開始9名、就労収入増加19名)に就労支援の効果がみられた。また、プラン作成外の55名にも一般就労開始及び収入が増加したことから、就労相談員として役割を發揮できたと考える。
 - ・ 社会参加の必要な方の支援として、84名の方に訪問や同行に寄り添いながら支援を行った。転職を繰り返す方やひきこもり状態であった方の4名が就労定着。また、関係機関(就労準備支援・福祉サービスなど)に適切につなぎ見守り支援を行った。受診につながらない方には、医療機関と同行訪問を継続している。
 - ・ 緊急対応策として、市民や関係機関の協力による現物給付(食糧、ライフラインの復活等)やこども食堂と連携による食糧支援体制が構築された。また、地域福祉課の実施する参加支援に迅速につないだ。
 - ・ 生活困窮者を通じた地域づくりとしては、市内の医療・福祉・教育などの分野をつなぐ小規模法人のネットワーク化による共同推進事業に基づく会議や居住支援法人の会議に相談支援員が出席し、地域課題の提供と各機関との連携づくりを継続して行い、緊急一時宿泊場所の確保も行った。
 - ・ 社会保険労務士相談を年5回実施し、年金・手帳取得・労働に関することなどの専門相談に対応した。
- (3) 合志市相談支援事業(市受託事業:障害相談)
 - ・ 専門相談員を配置し、障害をお持ちの方や障害の疑いの方の包括的支援につながっている。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 複合的な課題を抱えている方や複数の相談機関が関与している場合は、関係機関との情報共有及び連携を円滑に行うことが、より適切な支援につながる。包括的支援のための職員育成
- (2) 社会とのつながりづくりや社会参加に向けた出口(就労・居場所づくり)メニューの把握及び地域社会と協働による構築
- (3) ひきこもり等の社会から孤立している方の支援は、伴走型の粘り強い支援継続が必要であり、そのための有資格者や経験のある職員配置

3 今後の方向性

- (1) 本人の状態像に応じたきめ細かい適切な支援をするために、社会資源(福祉制度など)の情報収集や職員間で共有を行い、ケース検討及び相談者に必要な地域課題を意識し、生活困窮者を通じた地域づくりに取り組む。また、生活福祉資金貸付相談窓口を一元化して、相談窓口を強化する。
- (2) 早期に相談につながるための周知活動を継続し、相談者を受け止め、関係機関と連携し対応する。
- (3) ひきこもり状態にある方や複合的課題のある方の相談を確実に受け止め、信頼関係の構築と関係機関とネットワークを形成するとともにアウトリーチ(訪問型)及び同行支援など丁寧な対応を行いながら、課題をひもとき伴走型支援を強化する。
- (4) 将来に不安を抱える方の支援(任意後見・死後事務)について、専門家の助言を受けながら、地域で安心して暮らせるための検討を継続する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
230～ 234	(委)生活困窮者自立相談支援事業	継続	合志市受託事業																				
<p>(事業内容)</p> <p>経済的困窮のみならず心身の問題、家庭の問題、就労の問題など複合的な課題に対しての相談対応及び支援を行った。訪問(アウトリーチ)による対応を含め、自立支援計画(支援プラン)を作成し、法に基づく事業等(支援サービス)を活用し対応した。</p> <p>(実績)・新規相談受付件数 351件(前年度420件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援決定確認数 91件 ・評価実施件数 107件 ・相談援助数 6,262件(前年度6,446件) ・社労士相談 9件 <p>(法に基づく事業等の活用) ()は前年度</p> <table border="1"> <tr> <td>・住居確保給付金 16(24)件</td> <td>・就労準備支援事業 6(5)件</td> </tr> <tr> <td>・一時生活支援事業 3(2)件</td> <td>・子どもの学習生活支援事業 22(22)件</td> </tr> <tr> <td>・家計改善相談支援事業 68(61)件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・就労支援 37(41)件</td> <td></td> </tr> </table>		・住居確保給付金 16(24)件	・就労準備支援事業 6(5)件	・一時生活支援事業 3(2)件	・子どもの学習生活支援事業 22(22)件	・家計改善相談支援事業 68(61)件		・就労支援 37(41)件		<p>根拠法</p> <p>生活困窮者自立支援法</p> <p>実施日時</p> <p>月曜日～金曜日 8:30～17:15</p> <p>実施機関</p> <p>ヴァーブル</p> <p>対象者</p> <p>合志市民</p>													
・住居確保給付金 16(24)件	・就労準備支援事業 6(5)件																						
・一時生活支援事業 3(2)件	・子どもの学習生活支援事業 22(22)件																						
・家計改善相談支援事業 68(61)件																							
・就労支援 37(41)件																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
235	緊急食糧支援業務	継続	その他 独自																				
<p>(事業内容)</p> <p>緊急対応が必要な方に各機関に協力を得ながら実施した。</p> <p>○生計困難者レスキュー事業(熊本県社会福祉法人経営者協議会社会貢献事業)</p> <p>現行制度で対応が困難な方の支援(ライフライン確保、食糧支援等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援回数 4件(前年度6件) <p>○食料支援</p> <p>市民・団体(日本非常食推進機構・子ども食堂・セブンイレブン・母子会など)の協力によりいただいた食料等を現物給付で支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援回数 198回(前年度179回) ・給付物品 米、レトルト副菜、缶詰、日用品、衣類 ・生活品貸出 炊飯器など 3件 <p>○対人直接支援(熊本県生活困窮者に対する緊急・一時支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援数 22件(ライフライン確保等) ・フードパントリー(食糧・生活用品配布)2回 195家族配布 		<p>支援日</p> <p>随時</p> <p>対象者</p> <p>合志市在住 生活困窮者</p>																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
236 238	相談支援、支援計画の作成 福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理	継続	県社協委託事業 独自																				
<p>認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、地域で安心して暮らせるよう福祉サービス利用援助を中心として、支援計画に沿った日常的な金銭管理サービス、重要書類の預かり等の権利擁護支援を実施した。</p> <p>緊急的に支援が必要な方の本会預かりサービス事業も実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談援助件数</td> <td>3,149件</td> <td>2,353件</td> </tr> <tr> <td>新規契約締結件数</td> <td>7件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>18件</td> <td>43件</td> </tr> <tr> <td>終了件数</td> <td>5件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>実利用延べ数</td> <td>184件</td> <td>143名</td> </tr> <tr> <td>社協預かりサービス数</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>			令和4年度	前年度	相談援助件数	3,149件	2,353件	新規契約締結件数	7件	6件	新規相談件数	18件	43件	終了件数	5件	4件	実利用延べ数	184件	143名	社協預かりサービス数	4名	3名	<p>根拠法</p> <p>社会福祉法第2条 第3項</p> <p>実施日時</p> <p>通年</p> <p>実施場所</p> <p>ヴァーブル</p> <p>実施機関</p> <p>本会</p>
	令和4年度	前年度																					
相談援助件数	3,149件	2,353件																					
新規契約締結件数	7件	6件																					
新規相談件数	18件	43件																					
終了件数	5件	4件																					
実利用延べ数	184件	143名																					
社協預かりサービス数	4名	3名																					

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
237	生活支援員の指導及び監督(地域福祉権利擁護事業)	継続	県社協委託事業										
<p>認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、福祉サービス利用援助において、利用者宅を生活支援員と同行訪問した。</p> <p>(利用者実人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>認知症</th> <th>知的障害</th> <th>精神障害</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(市民サポーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援員 4人:生活支援サポーター受講修了者(研修等) 支援員研修の実施(職員合同) 2回 内容:県社協主催研修、情報共有 		認知症	知的障害	精神障害	その他	合計	8	1	3	1	13	根拠法	社会福祉法第2条第3項
認知症	知的障害	精神障害	その他	合計									
8	1	3	1	13									
		実施日時	通年										
		実施場所	ヴァーブル										
		実施機関	本会										
		人数	4名										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
239	関係機関との協働研究及び委員会の運営 委員会による研究と連携ネットワーク	継続	独自										
<p>○法人後見運営委員会設置 受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適正な後見業務を担保することを目的に設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員:弁護士・司法書士・社会福祉士・市福祉部長・社協常務理事 委員会開催 年3回実施 受任及び後見申立検討:6名(内地域福祉権利擁護事業利用者5名) <p>○法人後見従事者・市民後見人養成研修(活動報告) ※県社協主催</p>		根拠法	民法843条										
		実施日時	通年										
		実施場所	ヴァーブル										
		実施機関	本会										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
241～ 242	成年後見等受任 任意後見人契約 後見人等との相談及び支援 市民向け相談及び周知 制度外支援(死後事務等)の研究	継続	独自										
<p>認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人が成年後見人、保佐人または補助人となることにより財産管理、身上保護を行い、権利を擁護することを目的に実施。法定後見人等受任については、法人成年後見事業運営委員会で協議し、決定を行う。</p> <p>○法人後見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 受任3件(後見類型1名 保佐類型2名 保佐類型1名死亡) <p>○成年後見相談 12件</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度についての相談対応を行い、必要時には関係機関へつなぎ支援した。 <p>※任意後見人契約及び制度外支援(死後事務等)の研究については、専門職からの助言を受けながら協議継続</p>		根拠法	民法843条										
		実施日時	通年										
		実施場所	ヴァーブル										
		実施機関	本会										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
206	合志市相談支援事業	新規	市委託事業
<p>障がい者及び障がい児、その保護者または介護を行う方の相談をヴィーブル内で行うことにより、市関係機関やサービス事業所と連携を行い実施した。専門相談員を配置することにより、複合的課題に対する相談を強化できた。</p> <p>○相談総数 1,712件/年(前年度3,106件/年)</p> <p>○新規登録者数 138人(児童95 成人43)</p> <p>○相談内容 ()内は前年度件数</p> <p>福祉サービスの利用等に関する支援 660件</p> <p>不安の解消・情緒安定に関する支援 186件</p> <p>健康医療に関する支援 113件</p> <p>○虐待相談 4件(5件)</p>		根拠法	障害者自立支援法
		実施日時	通年
		実施場所	ヴィーブル
		実施機関	本会
		人数	登録数1,388人

安心創造ネットワーク

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

□本 所 保健福祉センターふれあい館 TEL 096-242-7000
〒861-1102 熊本県合志市須屋2251番地1 FAX 096-242-6635

ホームページ <http://www.koshi-shakyo.or.jp>